

国立大学法人

東京農工大学

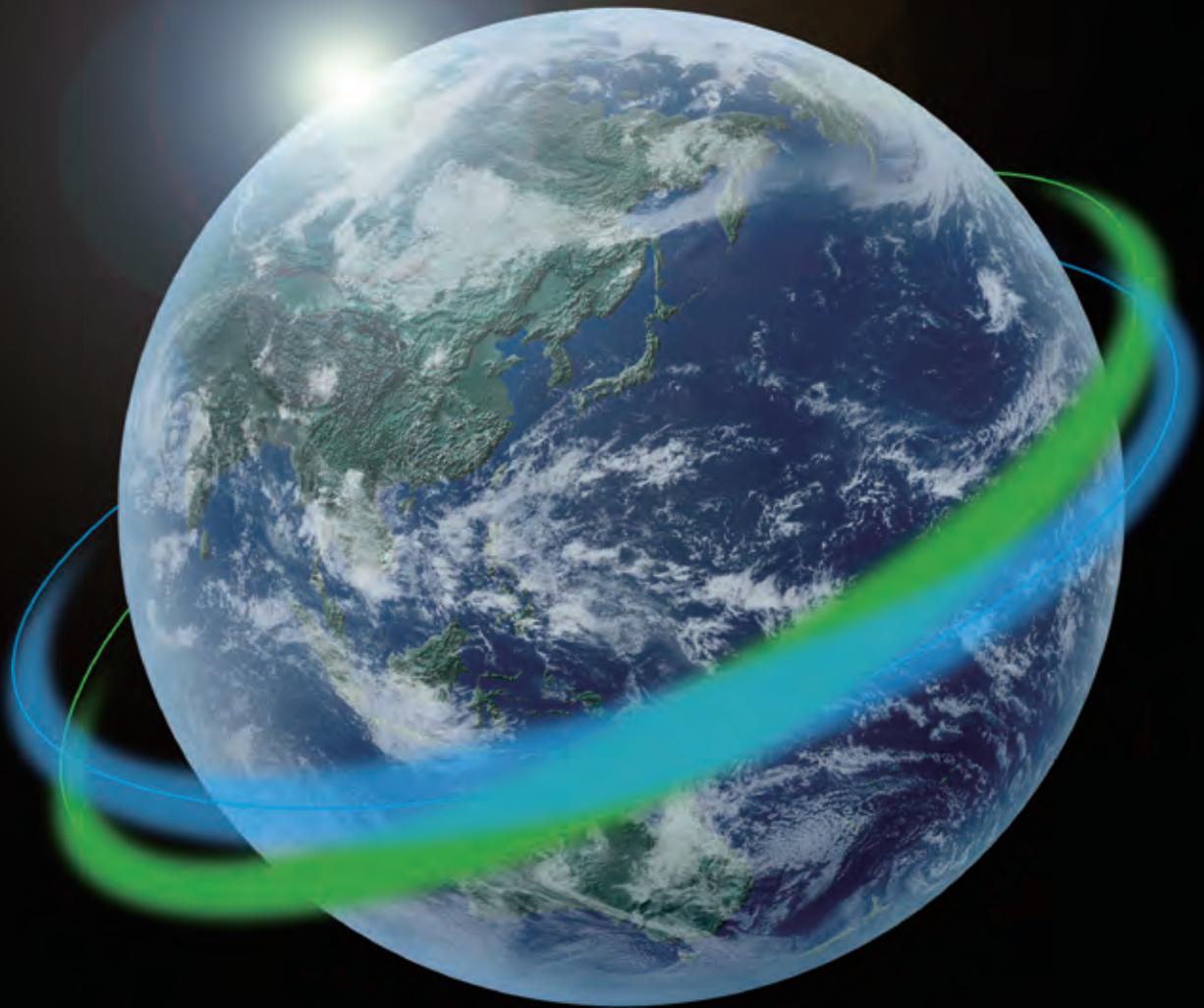
Tokyo University of Agriculture and Technology

農学部

The Faculty of Agriculture

工学部

The Faculty of Engineering



2019

MORE

— 美 し い 地 球

Mission Oriented Research and Education giving



The Faculty of Agriculture

The Faculty of Engineering

SENSE

持 続 の 持 た 続 め に

Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth

地球をまわす力

それは地球を取り巻く問題に積極的に取り組み、科学の進化に貢献する姿勢です。

東京農工大学では、国際社会でリーダーとしての役割を担い、

持続発展可能な社会づくりのための人材育成と知の創造に邁進し、

未来の地球をまわす人材を世に送り出していきます。

東京農工大学3つのポイント

POINT1 P.02

卓越した研究環境

教員1人あたりの学生数約8人という密度の高い設備環境を実現。本格的な実験設備が整っているのも国立大学ならではの強みです。

POINT2 P.04

グローバルな学び

43か国・地域、145機関との連携ネットワークを活かした留学・海外研修プログラムを用意。在学中に留学するチャンスが豊富です。

POINT3 P.06

安定した就職実績

農学部生は58%、工学部生は79%が大学院に進学。専門知識・技術を身につけ、幅広い分野の一流企業や行政機関に就職します。

CONTENTS

02	東京農工大学の学び	14	農学部 生物生産学科	34	工学部 機械システム工学科
04	グローバルキャンパス	18	農学部 応用生物科学科	36	工学部 知能情報システム工学科
04	キャリア支援/進路・就職	20	農学部 環境資源科学科	38	大学院
06	学長メッセージ/沿革	22	工学部 地域生態システム学科	40	府中キャンパス
10	TOPICAL 工学部で新教育課程がスタート!	24	農学部 共同獣医学科	42	小金井キャンパス
11	TOPICAL 西東京三大学連携による共同大学院	26	工学部 生命工学科	44	キャンパスライフ
12	TOPICAL 専門性を生かす能力の伸長を目指す 教養教育の構築	28	工学部 生体医用システム工学科	46	学生生活サポート
14	学部学科INDEX	30	工学部 応用化学科	48	入試情報
		32	工学部 化学物質工学科	49	オープンキャンパス

※工学部の学科は設置廃止中のため、変更することがあります

東京農工大学の学び

東京農工大学では、学部4年間の後、大学院で専門分野をより深く学ぶことができます。学部から修士課程、博士課程まで続く、学びをイメージしてみましょう。

4 YEARS

THE FACULTY OF AGRICULTURE



農学部

学部(4年)

- 生物生産学科
- 応用生物科学科
- 環境資源科学科
- 地域生態システム学科

就職

進学

学部(6年)

- 共同獣医学科

進学

THE FACULTY OF ENGINEERING



工学部

学部(4年)

- 生命工学科
- 生体医用システム工学科
- 応用化学科
- 化学物理工学科
- 機械システム工学科
- 知能情報システム工学科

進学

進学

*工学部の学科は設置調整中のため、変更することがあります

就職

2 YEARS

3-4 YEARS

大学院農学府

修士課程(2年)

就職

生物生産科学専攻 環境資源物質科学専攻
 共生持続社会学専攻 物質循環環境科学専攻
 応用生命化学専攻 自然環境保全学専攻
 生物制御科学専攻 農業環境工学専攻
 国際環境農学専攻

進学

平成31年度に上記3専攻から、国際連携性のある国際環境農学専攻としての人材、生命
 応用型博士課程への高度人材としての基盤を養成する「農学専攻」の1専攻・6専攻に充
 てる予定です。専攻別の内容は予定であり、予告なく変更する場合があります。

就職

進学

大学院生物システム応用科学府

博士前期課程(2年)

就職

生物機能システム科学専攻

進学

食料エネルギーシステム科学専攻

一貫制博士課程(5年)

大学院工学府

博士前期課程(2年)

就職

生命工学専攻
 応用化学専攻
 機械システム工学専攻
 物理システム工学専攻
 電気電子工学専攻
 情報工学専攻

進学

専門職学位課程(2年)

産業技術専攻

進学

就職

大学院連合農学研究科

博士課程(後期3年)

生物生産科学専攻 農業環境工学専攻
 応用生命科学専攻 農林共生社会科学専攻
 環境資源共生科学専攻

大学院農学府

博士課程(4年)

共同獣医学専攻

博士後期課程(3年)

生物機能システム科学専攻

共同先進健康科学専攻

博士課程(後期3年)

博士後期課程(3年)

生命工学専攻
 応用化学専攻
 機械システム工学専攻
 電子情報工学専攻
 共同サステイナビリティ研究専攻(設置構想中)※

※ 西東京三大学連携による共同専攻

グローバルキャンパス

東京農工大学は、アジア78校を筆頭に、世界各国145の大学・研究機関（2018年1月15日現在）と姉妹校協定を締結し、活発に学生交流を展開しています。姉妹校への交換留学は、原則として留学先の大学に入学会や授業料を別途支払う必要はありません（姉妹校でも一部授業料が必要な大学等もあります）。



世界43か国・地域の協定校ネットワーク

- | | | | | | |
|--|--|---|--|--|--|
| <p>ヨーロッパ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■フィンランド
アボト大学
オウル大学
■スウェーデン
スウェーデン国立工科大学
カロリンスカ研究所 ■イギリス
ブライトン大学
オックスフォード大学
リヴァプール大学 ■フランス
モンペリエ工科大学第1校
レンス第1大学
ポールサバティエ大学
[トゥールーズ第三大学]
ナント産物工学・人工知能学研究所
パリエスタクレイク大学
ダルーブルアルブス大学 ■ドイツ
アーヘン工科大学
ホーエンハイム大学
ボン大学
シュタインバイス大学
ミュンヘン工科大学
生物技術研究所
フュフニク農業動物研究センター ■オーストラリア
ウェンデルワール大学
ニューカッスル大学
ローマ大学
ヒラズ大学
パドヴァ大学
マルタ工科大学
フィレンツェ大学 | <p>■オランダ
フローニンゲン大学
ヴァーヘニンゲン大学
■スペイン
オビエド大学
バレンシア大学
■チェコ
チェコ工科大学
■ポーランド
ポーランド日本産物工科大学
■ロシア
パンフィロフ・ナショナル大学
モスクワ大学
■ブルガリア
トキヤ大学
■ウズベキスタン
国立ウズベキスタン大学
タシケント州立農業大学メクス校
■ウクライナ
キエフ工科大学
■リトアニア
アレクサンダラス・ストルキス大学
■ポルトガル
リスボン大学</p> <p>中国</p> <ul style="list-style-type: none"> ■アフガニスタン
カブル大学 ■サウジアラビア
キングアブドゥルアジズ大学
■アラブ首長国連邦
UAE大学 | <p>■トルコ
アンカラ大学
イスタンブール工科大学</p> <p>アジア</p> <ul style="list-style-type: none"> ■エジプト
ベンハー大学
■韓国
コーナ大学 ■アジア
■ネパール
森林大学
■バングラデシュ
スタムフォード大学
ジャゴンナ大学
ラジシャハ大学
■ミャンマー
イニョン農業大学
■タイ
チュロンコン大学
カセサート大学
マヒドン大学
サイエンス大学
マハナコン工科大学
ファンマイ大学
ナレスアン大学
スナナリー工科大学
キングモンクット工科大学ワロン校
キングモンクット工科大学トンブリ校
■カンボジア
カンボジア工科大学
カンボジア国立農業大学 | <p>■インドネシア
ボゴール農科大学
バンテン工科大学
ガジャマダ大学
ランバン大学
インドネシア技術評価応用庁
ペドランジャダジャカルタ大学
ウダヤナ大学
インドネシア大学
スンバハ工科大学
■フィリピン
ビサヤ州立大学
フィリピン大学ロスバニョス校
フィリピン大学ゲイマン校
セントラル大学
ア・ラサール大学
■マレーシア
マレーシア工科大学
マレーシア・ブトラ大学
マラ工科大学
■マシダル
エヌター大学
フズ大学
ハニ科学技術大学
ホーアミン工科大学
ホーアミン市立工科大学
ホーアミン市立農科大学
バクスター-国立公園
FPT大学
ベトナム林業大学
ベトナム国立農業大学
バンラム大学
チャビン大学
■ラオス
ラオス国立大学</p> | <p>■ブルネイ・ダルサラム
ブルネイ・ダルサラム大学
■スリランカ
ペラニア大学
■中国
浙江大
南京林業大学
華東理工大
中国農大
北京林業大
南京農業大
深セン農業大
吉寧大
東江農業大
貴州大
北京郵電大
重慶民衆大
大連理工大
清華大
中国環境科学研究所
蘇州大
上海社会科学院
南京工業大
合肥工業大
内モンゴル自治区農林科学院
中国農業科学院・農業資源及び
農業地域持続発展研究所</p> <p>■韓国
慶熙大
漢陽大
国立慶尙大
全南国立大
慶江国立大</p> | <p>■台湾
台湾工業技術研究院
国立交通大</p> <p>オセアニア</p> <ul style="list-style-type: none"> ■オーストラリア
ニューカッスル大学
ブリスベン大学
ロイヤルメルボルン工科大学 <p>北アメリカ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■アメリカ
ニューヨーク州立大学バッファロー校
バゲュー大学
ハワイ大学マノア校
カリフォルニア大学アービス校
コーネル大
ニューヨーク州立大学ハンター校
カリフォルニア大学リバーサイド校
アリゾナ大
アリゾナ州立大
ジョージア大
ジョーク大
■メキシコ
チャビング自治大 <p>南アメリカ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ブラジル
パウリスチ結合大
カンピナス州立大
■ペルー
ラモリーナ国立農業大 <p>■南米
農業総合技術センター</p> |
|--|--|---|--|--|--|

卒業研究のフィールドワークができた！



齋藤 かな SAITO, Keys
大学院農学府生物生産科学専攻2年
東京農工大学附属
国際中等教育学校出身
留学先:インドネシア・ボゴール
農科大学(5か月)

「バイオ肥料」の知識を深めるため、インドネシアの大学に留学しました。現地では、植物生育促進根圏細菌研究の第一人者である教授と農業施設を訪問。子どもたちへの農業教育の現場も視察しました。研究成果を日本やアジアの農業現場で役立てるのが将来の目標です。



アメリカの研究室は日本の大学とはまったく違っていった



菊池 秀 KIKUCHI, Shu
大学院生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻
博士後期課程1年
留学先:アメリカ・コーネル大学(6か月)

実践科学リーディング大学院の留学プログラムを利用して、コーネル大学に留学しました。アメリカの研究室は大学というより、むしろ企業。実用化に向け、社会と密接につながりながら研究を進める環境に驚かされました。また、研究者たちのポジティブに結果を求める姿勢からも刺激を受けました。



学生のニーズとレベルに合わせた柔軟な留学プログラム

短期研修プログラム

夏季・春季休暇を利用して、将来、長期留学ができる確かな英語力とコミュニケーション力を身につけます。専門科目の正規授業の履修やフィールド見学ができるものもあり、帰国時には語学力もアップして自信を持って帰ってきます。平成28年度は、カリフォルニア大学デービス校（米国）、フライトン大学、ケンブリッジ大学ホーマトンカレッジ（以上、英国）、キングモンクット工科大学トンブリ校、カセサート大学（以上、タイ）、シンガポール国立大学（シンガポール）、ロイヤルメルボルン工科大学（オーストラリア）での研修を実施。



フライトン大学（英国）での研修風景



タイ短期研修にて、現地の理工系高校を訪問

AIMSプログラム

東京農工大学は、東南アジア諸国を中心とした国際的學生交流プログラム「AIMSプログラム」に力を入れています。希望する学生は、マレーシア・インドネシア・タイ・フィリピンなどの協定校への1セメスターの留学が可能です。現地大学で取得した単位は本学の単位として互換可能です。また、協定校からの留学生も積極的に受け入れており、日本人学生との活発な国際交流が日常的に行われています（パディ・クラブ）。

AIMSプログラム *AIMS=ASEAN International Mobility for Students Programme



日本のほか、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピン、ブルネイ、韓国の特約10国が連携して、学生の交流プログラムに取り組んでいます。

交換留学・研究派遣留学

東京農工大学は、世界各国の145の大学・機関と姉妹校協定を締結しており、多くの学生を姉妹校に派遣しています。特に大学院レベルの学生は、姉妹校の研究員メンバーの一員として、専門領域の研究に加わっています。また、東京農工大学は「大学の世界展開力強化事業（中南米）」に採択されており、中南米諸国への派遣者も増えています。また、JASSO海外留学支援制度（協定派遣）・トビタテ！留学JAPAN等の制度を活用して、海外へ留学する学生も多くなります。



ラ・モリーナ国立農工大学（ペルー）植物病の留学生さんと



カンボジアのフィールド調査で訪れた水上村にて

学内でいつでも異文化交流！

Global Cafe

Global Cafeは、本学に在籍する年間400名を超える留学生と日本人学生との交流の場として常設されています。いつでも国際交流ができる環境の中で、英語力・コミュニケーション力などを養うとともに、日常生活において、疑似留学を体験することができます。



パディ・クラブ

留学生とともに学びながら、日本での生活をサポートする学生の活動（パディ・クラブ）を盛んに行っています。日本にいながら異文化体験をすることで、英語でのコミュニケーション力や国際的な視点を培うことにつながっています。将来的な留学への展望を持つ学生も多く、実際にこの中から多くの学生が短期・長期の留学を果たしています。



学長メッセージ

現在、世界では「持続発展可能な社会の実現」が求められています。東京農工大学では、農学、工学およびこれらの融合領域における教育研究を通して、将来この課題を解決できるような学生を育成しています。

世界が認める最先端の「研究大学」へ

Message from the President



東京農工大学 学長 大野 弘幸

早稲田大学理工学部応用化学科卒業後、同大学大学院理工学研究科応用化学専攻博士課程修了。ドイツ、マインツ大学訪問研究者、米国ケースウエスタンリザーブ大学博士研究員、早稲田大学助手、東京農工大学助教授、教授、同工学部長・工学研究院長を経て、現在に至る。

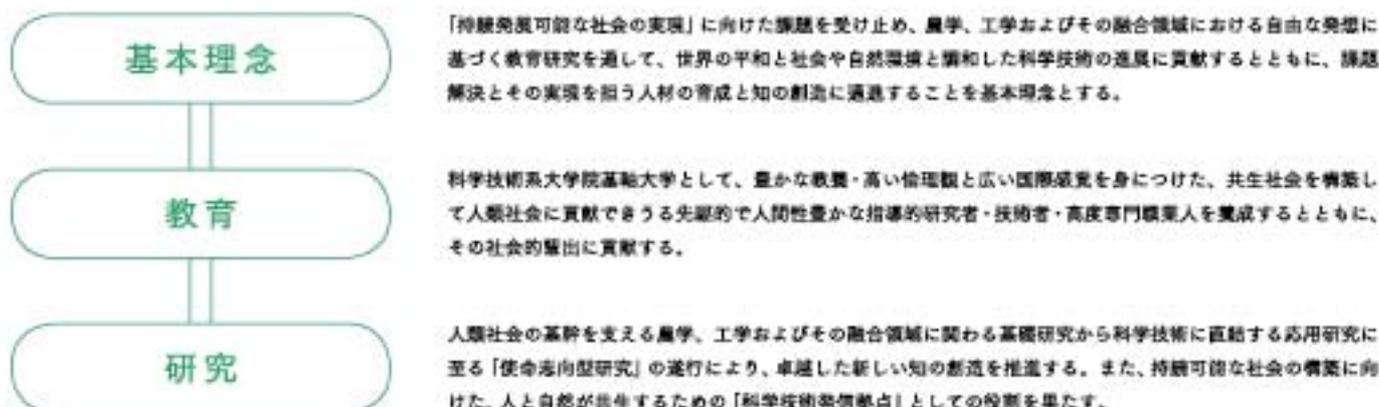
「農学」と「工学」は、現在と将来の社会を支える重要な役割を担う学問です。いわば、我が国の産業を支える両輪であり、世界が抱えるさまざまな課題を解決するために必要な実践的、かつタイムリーな研究分野でもあります。

現代社会では、食糧、環境、エネルギー、材料、情報といった「農学」と「工学」にまたがる学問領域の知識に広く通じた人材がますます求められています。農学部と工学部からなる唯一の国立大学法人である東京農工大学は、この2つの分野の「知」を140年以上積み上げてきました。そして、現在も両分野における最先端の研究が進んでいます。農学分野では食糧の安定供給のための研究や微生物を活用した浄水設備の開発、工学分野では人工知能の活用や環境負荷の少ない新規材料の開発など、いずれも実社会の課題解決に直結したテーマが中心です。

産業をルーツとして創基した東京農工大学の教育の特色は、一貫して「実践的」であること。じっくりと研究に取り組む学風が伝統で、学部生の70%以上は大学院に進学して専門知識を深めます。農学、工学、およびこれらの融合領域の研究や企業・行政機関との共同研究も盛んで、大学発ベンチャーの活動も推進しています。さらに、欧米、アジアの教育機関との連携にも力を入れており、国際色豊かな環境で学べる点も特長です。こうした実績は、国際社会で先導的な役割を担う高度な専門職業人材を輩出する「研究大学」として、世界に認められている証ともいえるでしょう。

私たちが今後のビジョンとして掲げるのは、世界と競える先端研究力を強化し、国際社会との対話力を持った教育研究を推進すること。そのため留学や海外研修のプログラムもさらに充実させていくつもりです。目指すのは、日本の産業界を国際社会に向けて牽引する「イノベーションリーダー」の育成。皆さん、既存の型にはまらない次世代のリーダーになりましょう。

東京農工大学憲章(抜粋)



東京農工大学の沿革

<p>→ 1874年 内務省勸業寮内藤新宿出張所を設置 農事修学場(農学部創基) 蚕業試験場(工学部創基)</p>	<p>→ 2005年 大学院技術経営研究科(専門職学位課程)を設置</p>
<p>→ 1949年 東京農工大学(農学部・繊維学部)を設置</p>	<p>→ 2006年 大学院共生科学技術研究部を大学院共生科学技術研究院に名称変更 大学院農学教育部、大学院工学教育部、大学院生物システム応用科学教育部を大学院農学府、大学院工学府、大学院生物システム応用科学府に名称変更</p>
<p>→ 1962年 繊維学部を工学部に改称</p>	<p>→ 2010年 大学院共生科学技術研究院を大学院農学研究科及び大学院工学研究院に改組</p>
<p>→ 1965年 大学院農学研究科(修士課程)を設置</p>	<p>→ 2011年 大学院技術経営研究科(専門職学位課程)を改組し、大学院工学府産業技術専攻(専門職学位課程)へ再編</p>
<p>→ 1966年 大学院工学研究科(修士課程)を設置</p>	<p>→ 2012年 岩手大学農学部・東京農工大学農学部共同獣医学科を設置</p>
<p>→ 1985年 大学院総合農学研究科(博士課程)を設置</p>	<p>→ 2014年 創基140周年</p>
<p>→ 1989年 大学院工学研究科(修士課程)を工学研究科(博士前期・後期課程)に改組</p>	<p>→ 2016年 グローバルイノベーション研究院(研究組織)を設置</p>
<p>→ 1995年 大学院生物システム応用科学研究科(博士前期・後期課程)を設置</p>	<p>→ 2018年 東京農工大学農学府共同獣医学専攻(博士課程)を岩手大学と設置</p>
<p>→ 2004年 国立大学法人東京農工大学に移行 大学院(農学研究科、工学研究科、生物システム応用科学研究科)を改組し、大学院共生科学技術研究部(研究組織)及び大学院農学教育部、大学院工学教育部、大学院生物システム応用科学教育部(教育組織)に再編</p>	<p style="text-align: right;">THE HISTORY OF T U A T</p>

2019年4月 工学部は、 大きく変わります！

3つの特徴

- 1 将来、社会に参画する際の自らの強みを始めから意識できる。
- 2 各学科で複数の専門分野を学べる。
- 3 自らのメジャーとなる専門分野の体系が身につく。

3つの専門性

未来のデザインに役立つ。

■ バイオ/医工系

■ エネルギー/環境/マテリアル系

■ モビリティ/ロボティクス/コンピュータ/AI系

FUTURE!

将来をイメージできる **6学科**の学び

バイオ
医工系

生命工学科

■ 生物工学
■ 医工学

■ 生命化学

P.26

生体医用システム工学科

■ 物理工学
■ 生物工学

■ 電子情報工学
■ 医療工学

P.28

エネルギー
環境
マテリアル系

応用化学科

■ 化学

■ 材料科学

P.30

化学物理工学科

■ 化学工学
■ 電気電子工学

■ 物理工学
■ エネルギー工学

P.32

モビリティ
ロボティクス
コンピュータ
AI系

機械システム工学科

■ 機械工学
■ 材料工学

■ 航空宇宙工学
■ 計算工学

P.34

知能情報システム工学科

■ 情報工学
■ 電気電子工学

■ 数理工学
■ 通信工学

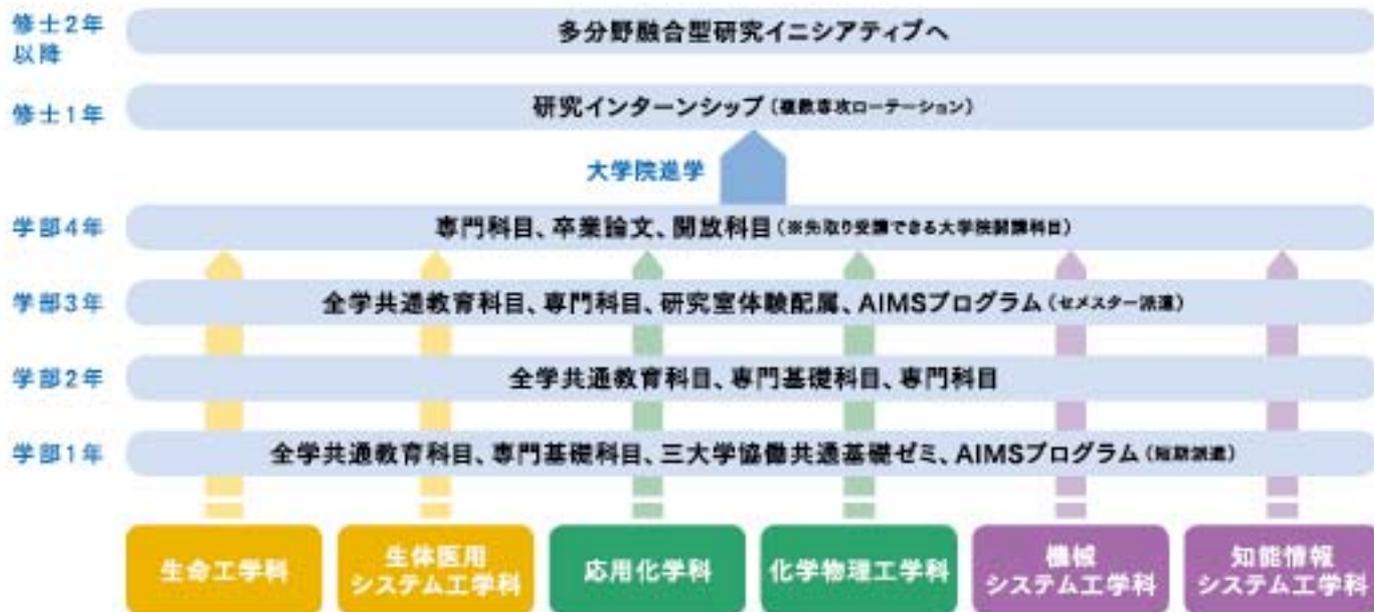
P.36

嚮型教育による工学系知的 プロフェッショナル人材の育成

～専門性の幹を育て、多様性の枝を広げる～

教育課程編成の概要

「アイデンティティ（自主性・独立性・専門性）」を確立し、
「ダイバーシティ（多機性・協働性・学際性）」を育む教育課程へ



TOPIC | 02

西東京三大学連携による共同大学院

(東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学)

▶工学府(博士後期課程)「共同サステナビリティ研究専攻」新設

- ・文理協働により、現代世界が抱える自然環境、社会環境などの地球的課題の解決
- ・博士号を持った国際スタッフを育成し、日本の国際プレゼンスを大幅に向上

東京外国語大学 国際・リベラルアーツ及び地域研究

現代世界が抱える様々な課題をグローバルな視点から解決する能力を備えた国際職業人を育成

共同サステナビリティ研究専攻

自身の専門性に軸足を置き、その専門的な観点からSDGs*の課題を捉えつつ、異分野の研究成果を融合することによってイノベーションを生み出すことができる学際的、継続的な実務人材の育成

東京農工大学 食料、エネルギー、ライフサイエンス

農学、工学及びその融合領域において、高度な研究能力を備える国際職業イノベーション人材を育成

電気通信大学 ビッグデータ、ICT技術、人工知能、光工学

情報学分野、情報通信分野、ロボット制御分野、光工学分野において、グローバルな視野とイノベティブな高度専門技術者の育成

*SDGs: Sustainable Development Goals 17の目標と163のターゲットからなる持続可能な開発目標

新カリキュラムスタート!

専門性を生かす能力の伸長を 目指す教養教育の構築

4つの特徴

- 1 5つの科目群が、それぞれの教育効果とその相乗効果を通して、カリキュラム・ポリシーで目指す教養教育を具現化
- 2 教養教育と専門教育が連動するくさび形教育の中で、学生がそれぞれの興味や能力に応じて知識や能力を段階的に身につける設計を実現
- 3 グローバル展開、農工融合、産学連携をテーマとする新科目を設置し、教養教育や専門基礎教育で得た知識を展開させることで「科学技術の専門性を広く生かすことができる能力」を鍛錬
- 4 アクティブラーニングと英語講義の推進

科目群	科目名	1年
新入生 科目群	新入生科目 基礎的・抜本的学習を促し、大学に仕える実力を身につけ、自覚学習・協働による学習の基礎を築く科目群。	<ul style="list-style-type: none"> ■ アカデミックライティング入門 ■ 農学基礎ゼミ/工学基礎実験
グローバル教養科目群	人文・社会科学科目 多様性や異文化への理解を深め、多面的視野を形成し、国際感覚、批判的思考、的確な判断力を磨く科目群。	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">■ 現代倫理論 <li style="width: 50%;">■ 日本国憲法 <li style="width: 50%;">■ 現代宗教論 <li style="width: 50%;">■ 経済学 <li style="width: 50%;">■ 多文化共生論 <li style="width: 50%;">■ 社会学 <li style="width: 50%;">■ 歴史学
	理系教養科目 科学技術と社会の関わり、科学における法規制・倫理観など、自然科学と社会科学の融合領域を学ぶ科目群。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食料・環境問題 ■ 安全工学* ■ 農業史
グローバル言語文化科目群	英語科目 グローバル化が進む社会で双方向的なコミュニケーションを実現するための本格的な英語力を養う科目群。	<ul style="list-style-type: none"> ■ Integrated English ■ English Exam Preparation Course I ■ Paragraph Writing ■ English Discussion
	第二外国語科目 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語など、英語圏とは異なる特徴を有する言語を学ぶ科目群。	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">■ 第二外国語 I <li style="width: 50%;">■ 異文化理解のための○○語* <li style="width: 50%;">■ 第二外国語 II
展開科目群 グローバル	グローバル展開科目 幅広い学際分野・学際分野の知識を実践的に展開し、課題解決・問題解決につなげる複合的な力を鍛える科目群。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三大学協働基礎ゼミ ■ Multidisciplinary Courses*
健康科学 科目群	スポーツ健康科学科目 人間の身体や健康、スポーツに関する知識を学び、自らの体力とその発揮方法を実践的に理解する科目群。	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">■ スポーツ健康科学理論 <li style="width: 50%;">■ 生涯スポーツ実技 <li style="width: 50%;">■ 体力学実技
身につける知識や能力		<ul style="list-style-type: none"> 多様性、協働性を育む コミュニケーション力と異文化理解力の基盤



英語科目担当教員による授業



留学生・日本人学生の合同授業

本格的な英語力を身につけて 専門研究の幅を広げてほしい

新しい教養教育カリキュラムでは、コミュニケーション力と異文化理解力を育む科目群を用意しています。私が担当する英語科目では、「読む・聞く・話す・書く」の4技能をバランスよく伸ばす科目を配置。1年次から英語でディスカッションを行い、2年次には英語でのプレゼンテーションに挑戦します。さらに、論文読解や論文作成の基盤になる本格的な英語力を養成。将来長期留学を目指している学生には、英語テスト対策の授業もあります。英語で情報を収集し、論文を書き、世界に向けて発信できるようになると専門研究の幅が大きく広がります。英語だけでなく、文学、哲学、経済学、社会学など、さまざまな知識を幅広く身につけて、専門性を展開できる能力を確立してほしいと思っています。



工学部研究
言語文化科学部門
教授 森 祐希子

2年	3年	4年以降
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 共生社会政策論 ■ 国際平和論 ■ 哲学 ■ 文学・芸術学 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 心理学 ■ 教育学
■ キャリアプランニング*	<ul style="list-style-type: none"> ■ 科学史 ■ 技術者倫理* ■ 知的財産権・特許法* 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生命倫理* ■ 動物と人間の行動*
<ul style="list-style-type: none"> ■ Essay Writing ■ English Presentation 	<ul style="list-style-type: none"> ■ English Reading ■ English Exam Preparation Courses II, III* 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Academic Reading* ■ Academic Communication*
<ul style="list-style-type: none"> ■ 産学連携科目* ■ マーケティング* ■ ベンチャービジネス論* 	<ul style="list-style-type: none"> ■ グローバル先端科目 ■ 農工協働科目 ■ 標準化* ■ プロフェッショナル実践法 	
	<ul style="list-style-type: none"> 自発性の発揮 コミュニケーション力と異文化理解力の研鑽 専門知識の柔軟な運用能力 的確な判断力 	<ul style="list-style-type: none"> 専門性を 展開できる 能力の確立

*表の学年に限定されず、他学年でも履修可能

学部学科INDEX

農学部

農学部は5学科から構成され、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会を形成するため、広く知識を授け専門の学芸を教授し、知的、道徳的および応用的能力を展開させる優れた能力を有する学生を養成しています。

アドミッションポリシー（学生受入方針）

地域社会や国際社会における食料・生命・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、これらの問題解決に立ち向かう意欲を持つ学生を求めます。

学びの目的・学びの特色

農学部においては、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに専門の学芸を教授し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させて優れた能力を有する人材を養成することを目的としています。

4年間の学びの流れ（カリキュラム）



学科名	学びのキーワード		
生物生産学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 土壌有機物 ■ 土壌生態系 ■ バイオ肥料 ■ 野生動物保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作物生産 ■ 遺伝解析 ■ 家畜管理 ■ 食品 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 植物ホルモン ■ 昆虫 ■ 農業経済 ■ 農村開発
応用生物科学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 遺伝子組換え ■ 微生物 ■ 生理活性物質 ■ 糖タンパク質 	<ul style="list-style-type: none"> ■ バイオテクノロジー ■ 細胞外マトリックス ■ 癌細胞 ■ 免疫と神経 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 植物分子育種 ■ 食品化学 ■ バイオマス ■ 機能性食品
環境資源科学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ オゾン ■ 絶滅危惧種 ■ リサイクル ■ 温室効果ガス 	<ul style="list-style-type: none"> ■ グリーンケミストリー ■ 人工化学物質 ■ 酸性雨 ■ 大気汚染 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医薬品による環境汚染 ■ 環境修復 ■ 住環境 ■ エアロゾル
地域生態システム学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 持続型・循環型社会 ■ 土木環境システム ■ 森林計画 ■ 水環境保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境教育 ■ 流域資源管理 ■ 自然エネルギー利用 ■ 人と動物の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 漁業 ■ 森林生態系 ■ 河川生態系 ■ 自然再生
共同獣医学科	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医学 ■ 解剖学 ■ 薬理 ■ 公衆衛生 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 画像診断 ■ 臨床腫瘍 ■ 伴侶動物 ■ 動物診断 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食品の安全 ■ 感染症 ■ 伝染病 ■ 獣医師

工学部

工学部は6学科から構成され、「標準教育による工学系知的プロフェッショナル人材の育成」を標榜し、専門性の粋を育て、多様性の枝を有する学生を養成しています。

【2019年4月取組予定(標榜中)】学科の概要・カリキュラム等は予定であり、今後変更することがあります。

アドミッションポリシー (学生入学方針)

工学部の目指す教育は、大自然に対する真理の探究とものづくりマインドを持った創造力豊かな学生の育成です。さまざまな考えを持った人たちと対話ができ、あるときは興味のあることに時間を忘れて打ち込むような情熱を持った学生の入学を希望します。

学びの目的・学びの特色

工学部においては、工学分野の科学技術に関する基礎、専門知識・技術、専門性を発揮するために役立つ論理的思考力、表現力、多様性を受容する力や協働性を育む教養を学ぶ機会を提供します。主体性を持って人生を切り開いていくために必要な専門性と、人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、他者にわかりやすく表現することができる能力を有する人材を養成することを目的とします。

4年間の学びの流れ(カリキュラム)



学科名	学びのキーワード
生命工学科	<ul style="list-style-type: none"> 再生医療 バイオインフォマティクス バイオセンサー 抗体工学 創薬化学 創物工学 核酸工学 バイオナノマテリアル マリンバイオテクノロジー バイオ燃料電池 人工細胞膜 がんと生活習慣病の治療
生体医用システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> 医用超音波 医用光・電子デバイス 生体医用光学 バイオフォトニクス ロボット計測システム 3次元画像 応用計測 生体高分子 生物物理 DNA放射線損傷の分子物理 スピンケミカル 環境磁気センサー
応用化学科	<ul style="list-style-type: none"> 有機合成化学 分子エレクトロニクス バイオマテリアル 有機金属化学 電気化学 半導体化学 分子触媒化学 グリーンケミストリー 高分子合成化学 ナノ医療 ナノマテリアル 機能性高分子
化学物理工学科	<ul style="list-style-type: none"> 化学工学 低環境負荷・高効率生産システム 環境発電技術 新素材創製 測厚計測デバイス エレクトロニクス 機械情報コミュニケーション 新型太陽電池 微粒子工学 反応・分離操作 バイオ医薬品 ナノ・マイクロデバイス
機械システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> ロボティクス スマートモビリティ 航空宇宙工学 生産システム 先端材料 エネルギー工学 ナノ・マイクロシステム
知能情報システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能計 信号処理 バーチャルリアリティ モーションコントロール 電磁波 通信工学 計算機ネットワーク パターン認識 算機アーキテクチャ マイクログリッド 自然言語処理 ヒューマンインターフェース

生物生産学科 定員 57名

BIOLOGICAL PRODUCTION



農業をあらゆる角度から研究し、人類を支える「食」の明日を担う生物生産学科。農業生産は環境の保全にも重要な役割を果たしており、再生可能なバイオマスエネルギーの供給源としても期待されています。



研究室PICK UP

動物生化学（昆虫系）分野
講師 天竺桂弘子 TABUNOKI, Hirako

昆虫が環境に適応する仕組みをヒントに 人間の病気の研究に応用する

昆虫は体のつくりや生理機能を進化させ環境に適応し、地球上で大繁栄したと考えられています。これには昆虫独自の仕組みと人間と共通する仕組みの両方を利用していることがわかってきました。突然変異した昆虫を利用して、人間のパーキンソン病発症の仕組みを調べる研究などがその一例です。研究室では昆虫をこれまでとは異なる視点で研究し、昆虫研究から新たな価値を創造できる研究者を育成します。

本学科が目指すもの

農産物の生産から消費まで、人と自然を結びつける「農の営み」に関連する学問分野を幅広くカバーし、日本および世界の農業を広く深く理解するとともに、農業に関わる最先端の科学と技術に関する知識を身につけます。そして、その知識を国内外農業の持続的発展、農産物の流通・加工・消費、農業の多面的機能の積極的利用などに活かすことのできる人材の養成を目指しています。

カリキュラム

遺伝・発生・酵素反応など生物学の基礎から、光合成・養分吸収など生物生産機能の解析、群落構造・病害対策管理など生産プロセスの解析と技術開発、生産物の品質評価、生産物の流通・消費システムなど、多岐にわたる内容が体系的に構成されています。

学年	専門科目		
	学部共通科目	学群共通科目	専攻科目
4年次		卒業論文	(生産技術関係系科目) 農地工学 (農業経営経済系科目) マスアインフルーフーズ論 (新領域科目) 地域パートナーシップ論
3年次	現代農業論 生物資源論 国際環境論 環境生物実験 動物と人間の行動	農業微生物学 分析科学 農産物製造学 生物統計学 生物生産学実習 入門 English Listening and Reading for Biological Production I・II アグリバイオ実験 学外実習(農業) (研究別) 卒業論文	(生産技術関係系科目) 土壌肥育管理・肥料科学/作物保護学/灌漑排水工学 (動物生産系科目) 農芸学Ⅱ/植物育種学/植物生理学 (動物生産系科目) 畜産実習学/畜産繁殖学/畜舎管理学/獣医学 及立地科学/畜舎衛生学 (農業経営経済系科目) 農業市場学/国際農業経済論 農業資源経済学/農業政策経済分析 農業経営経済学総合実習/農村社会調査実習 (新領域科目) バイオマスエネルギー論/遺伝子制御工学 生物生産学特別講義Ⅰ(環境系) 生物生産学特別講義Ⅱ(環境系) 生物生産学特別講義Ⅲ(動物系) 生物生産学特別講義Ⅳ(経済系) 畜料リスクアナリシス/動物福祉論
2年次	農業科学(農業) FA実験実習	生化学 農業分野専攻実習 の生物生産学実験 基礎	(生産技術関係系科目) 土壌学/農業実地学 (動物生産系科目) 植物生理学/作物学/植物生理学/園芸学Ⅰ (動物生産系科目) 農業昆虫学Ⅰ・Ⅱ/畜舎管理・生化学 (農業経営経済系科目) 農業経済学/農業経営学/食料システム経済学
1年次	農学部特別講義 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 海外特別実習 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 海外特別実習 Ⅰ・Ⅱ	◎生物生産学講義 情報処理学	(生産技術関係系科目) 作物栽培学/◎フィールド実験実習Ⅰ・Ⅱ (動物生産系科目) 植物生理学/植物分子遺伝学 (動物生産系科目) 畜産学総論

◎印の科目は必修

生物生産学科の学び

生産技術関係系	農業生産技術学/土壌学/植物栄養学
植物生産系	園芸学/植物生理生化学/植物育種学/ 国際生物資源学/遺伝子制御工学
動物生産系	畜産学/動物生化学/畜舎環境生化学/養牛
農業経営経済系	農業経済学/農業経営・生産経営学/農業市場学/ 国際地域経済学

卒業後の主な進路

- ・経済産業省
- ・文部科学省
- ・東京都
- ・茨城県
- ・北茨城県農業協同組合
- ・農事総合法人成田ガイヤ
- ・ニチレイグループ
- ・日本たばこ産業
- ・日本ハム
- ・ヤマビコ
- ・協和発酵バイオ
- ・ウイング
- ・農中情報システム
- ・三洋貿易
- ・王塚食品工業
- ・東宝畜産
- ・住商フーズ
- ・草津ナクリゾートホテル
- ・ライフシールド
- ・多摩動物公園 など
- ・高学
- ・東京農工大学大学院
- ・京都大学大学院
- ・東京大学大学院 など

大学院進学後の主な進路

- ・味の素ゼラチンフーズ
- ・大塚製薬
- ・三井物産
- ・UCC上島珈琲
- ・ツムラ
- ・日本政策金融公庫
- ・東日本電産電通
- ・エスビー食品
- ・ヤマハ
- ・信日観光
- ・日本製粉
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソングループ
- ・ヤンセンファーマ
- ・出光興産
- ・農業・食品産業技術総合研究機構
- ・農林水産省 植物防疫所 など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科・農業)
- 動物園学士

学生の声

市原 寛 ICHIHARA, Tsubasa

大学院農学専攻 生物生産科学専攻 修士課程2年/私立後援教育学園渋谷高等学校出身

放射性セシウムを吸収しない稲を開発し、被災地の農業汚染の問題を解決したい

放射性セシウムを吸収しない稲の開発を行っています。このテーマに関心をもったきっかけは、2011年の福島第一原発事故。東北地方で農地の汚染が問題になっていることを知り、研究を通じてこの問題を解決したいと考えました。現在は、原発事故の被災地の土を使用して稲を栽培し、肥料に含まれるカリウムの量を変えることで、セシウムの吸収量に変化があるかどうかを分析しています。今後もこの研究を続けていくことで、被災地の農業に貢献したいです。

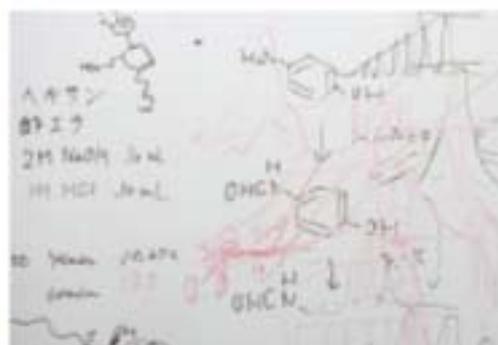


応用生物科学科 定員 71名

APPLIED BIOLOGICAL SCIENCE



化学と生物学を基盤とし、分子から細胞、個体、さらにはその相互作用まで一連の現象を解明・応用することで「生命」の未知なる可能性を解明し、人類に有益な生命科学の発展に貢献することを目的として研究を行っています。



研究室PICK UP

生物有機化学分野
准教授 北野克和 KITANO, Yoshikazu

生物に倣って有用な物質を化学的に合成し 高効率で環境負荷のない活用法を研究する

動物や植物がつくり出す有用物質の機能を高め、環境に配慮した活用法を研究しています。例えば、フジツボなどの海洋生物が船底や漁網に付着するのを阻害する化学物質を開発。従来の付着阻害剤は、その毒性が問題視されていました。そこで、私たちはフジツボがウミウシに付着しないことに着目。両者の化学的相互作用をヒントにして、低環境負荷型のフジツボ付着防止剤の開発に成功しました。このように生物の機能を化学的に応用する多様なテーマに挑んでいます。



本学科が目指すもの

微生物、動物、植物などの生命機能を、化学・生物学を基盤として深く探究・理解することを目指します。バイオテクノロジーでは、バイオサイエンスの成果を食品・医薬・農業をはじめとする生活関連有用物質の高度な生産に適用することを目指しています。バイオサイエンスとバイオテクノロジーの分野で活躍するための教育を行い、人類の発展に貢献できる人材を育成します。

カリキュラム

化学と生物学を基盤とし、分子、細胞、個体、個体と群集の活動、その相互作用に至る一連の生命現象と生物機能を解明し、生命科学の発展に貢献することを目的としています。そのため、「生命」と「生物」を身近なものとして捉えるカリキュラムを用意しています。

学年	専門科目	
	学部共通科目	学科共通科目
4年次		専門自由科目(食品工学) 食品衛生学 高用生物科学特別講義Ⅰ 科学英語論文演習Ⅰ 科学英語論文演習Ⅱ 卒業論文
3年次	現代農業論 生物資源論 国際環境農学 環境生物相関論 動物と人間の行動 高学部特別講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 海外特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 海外特別演習Ⅰ・Ⅱ	バイオロジカルコントロール 植物生理学 食品化学Ⅱ 栄養化学Ⅰ 遺伝子工学 神経生物学 高用微生物学 生理活性物質化学 科学英語 食品製造学 醸造工学 栄養化学Ⅱ 植物工学 代謝工学
2年次	環境化学(基礎) FS実験実習	微生物学 昆虫生物学 分子細胞生物学 分析化学Ⅱ 有機化学Ⅱ 生化学Ⅰ 植物生理学 免疫生物学 分子生物学Ⅱ 食品化学Ⅰ
1年次		情報基礎学 有機化学Ⅰ 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 分析化学Ⅰ 有機化学Ⅱ

◎印の科目は必修

応用生物科学科の学び

分子生命化学	生物化学/遺伝子機能制御学/構造生物学/免疫学/植物工学/遺伝子工学/細胞機能生化学
生物機能化学	生物制御化学/生体情報化学/生物有機化学/食品化学/栄養生理化学/応用蛋白質化学
生物制御学	植物生理学/高用昆虫学/高用遺伝子工学/細胞分子生物学/高用微生物学/細胞分子生物学

卒業後の主な進路

- ・農林水産省
- ・経済産業省
- ・東京都
- ・福岡市
- ・昭和産業
- ・テーブルマーク
- ・ヤマザキビスケット
- ・明治
- ・ブルボン
- ・湯水製菓
- ・協和興業キリン
- ・日本たばこ産業
- ・ピオフェルミン製菓
- ・中外製薬
- ・日本インサイトテクノロジ
- ・表紙日立情報サービス
- ・日本化学工業
- ・東京化成工業
- ・カネボウ化粧品
- ・資生堂
- ・トヨタ自動車
- ・サンジョントジャパン
- ・カネコ糖業
- ・タミアイ化学工業 など

大学院進学後の主な進路

- ・曹達メグエムク
- ・小林製菓
- ・カネコ糖業
- ・富士薬品
- ・MCフーズベスチャーズ
- ・クノール食品
- ・北興化学工業
- ・清水化学工業
- ・キュービー
- ・星野リゾート・マキジメント
- ・丸美屋食品工業
- ・花王
- ・ヤマザキ・ナビスコ
- ・特許が など

取得できる免許・資格

- 食品衛生監視員・管理員(任用資格)
- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科・農業)
- 博物館学芸員

学生の声

太田 寛 OHTA, Kai
 大学院農学専攻 生物制御科学専攻 修士課程2年/神奈川県立茅ヶ崎公園高等学校出身

生合成酵素をデザインし、 有用なテルペン化合物を創製する

私の研究は、微生物から動物に至るすべての生物でつくられるテルペンという天然有機化合物が対象です。生合成酵素を用いて試験管1本で合成する独自の手法で、複雑な化学構造や生合成反応機構の解析に取り組んでいます。生合成酵素の機能をデザインして、新しい生理活性物質や工業用資材の開発につなげられるような基礎研究に取り組んでいます。誰も知らない領域を自分の手で切り開いていけることが、この研究の魅力です。

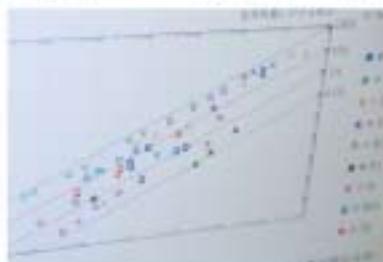


環境資源科学科 文庫 61本

ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE SCIENCES



生物学、化学、物理学、地学など、環境と資源の問題に科学のメスを入れる「地球の医学」を学びます。地球からミクロの世界まで、ヒトを取り巻く“環境”の研究を通じて、循環型社会の構築に貢献していきます。



研究室PICK UP

環境汚染解析学分野
教授 渡邊 良 WATANABE, leumi

身近に存在する有害汚染物質をモニタリング 生態系への影響を客観的なデータで分析する

有害汚染物質の環境影響を研究しています。なかでも水銀、カドミウム、鉛、ヒ素といった重金属・生体微量元素と呼ばれるグループが主な研究対象。これらが生態系や人の健康にどのような影響を及ぼすのかを調査しています。対象は、水、大気、土壌、野生生物などさまざま。高度な分析機器を用いて、データを収集します。福島の原発、豊洲市場の地下水など、有害汚染物質の問題は身近な関心事。ぜひ当研究室で、環境汚染を客観的に見る目を養ってください。

本学科が目指すもの

環境問題は、すべての人類に共通する大きな課題。石油や石炭に依存した大量生産、大量消費、大量廃棄によって支えられてきた私たちの豊かさは、21世紀初頭の今、曲がり角を迎えています。これからの人類が地球と調和して生きていくための科学を推し進めるとともに、そうした科学のバックグラウンドを身につけ、環境問題の解決に貢献する人材の育成を目指します。

カリキュラム

環境問題に対して、社会的ニーズに即した理解・行動ができる人材を育成します。環境と資源の広範囲な問題を対象とした生物学、化学、物理学、地学を基礎として広い知識を習得し、実験・実習・講義を組み合わせた多彩なカリキュラムで学びます。

学年	専門科目		
	学部共通科目	学科共通科目	学科専門科目
4年次		環境統計解析学実習	環境活動推進法 科学共同論文執筆 卒業論文
3年次	現代農業論 生物資源論 国際環境論 環境生物同実験 動物と人間の行動 海外特別実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 海外特別実習Ⅰ・Ⅱ 農学部特別講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	代謝生化学 環境分析学Ⅰ 水環境化学 資源高分子物化学 環境資源有機化学 水質資源物化学 応用生体化学 環境生体化学 森林実習 環境分析学Ⅱ 環境情報科学 環境実務学 環境資源科学実験Ⅱ (生物学応用) 環境資源科学実験Ⅳ (化学)	生分科学 森林資源利用学 森林資源形成学 環境物理学 新バイオ科学 位置情報科学 ライフサイクルアセスメント 資源評価・農業学 森林・林業学 環境分子生物学 環境アセスメント学 環境資源科学特別講義 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ
2年次	環境学概論(農業) FS実験実習	環境資源熱力学 森林資源科学 環境資源科学実習Ⅱ 物質生化学 資源材料科学 環境資源科学実験Ⅰ (生物学応用) 環境資源科学実験Ⅲ (化学応用)	大気化学 水質資源化学 陸水環境学 環境毒理学 資源高分子化学 植物組織形態解剖学 エコマテリアル学 環境土壌学 環境汚染化学 環境微生物学 位置生体化学
1年次		環境地理学 地球化学 生態系学概論 環境資源科学実習Ⅰ 環境分析化学 環境計測学	位置科学 資源ライフサイクル学 地質環境学 大気環境学 海洋環境学

環境資源科学科の学び

環境資源科学

環境物質科学/環境汚染解析/生物圏変動解析/
環境評価/植物環境/生態環境/
バイオマス・リサイクル

卒業後の主な進路

- ・東京都
- ・NTTコムソリューションズ
- ・パナソニック
- ・NTTコムシステムズ
- ・双日システムズ
- ・東日本電信電話
- ・東京農工大学大学院
- ・東京大学大学院
- ・NTT東日本
- ・JFE商事
- ・ナイス
- ・日本保険サービス
- ・アステラス分析科学研究所
- ・滋賀大学大学院
- ・パナソニック
- ・アステラス分析科学研究所
- ・滋賀大学大学院
- ・中国木材
- ・環境社
- ・東京ガス
- ・アジア航運

大学院進学後の主な進路

- ・林野庁
- ・鉄道情報システム
- ・サカイケンフーズ
- ・豊和薬
- ・TOMOEDAWA
- ・日比谷アモニス
- ・埼玉農
- ・(巴川製紙所)
- ・アストラゼネカ
- ・エヌ・ティ・ティ・コムウェア
- ・材料科学技術開発財団
- ・ダイエンス
- ・大塚工業
- ・ハイモ
- ・東洋ビジネスエンジニアリング
- ・日産自動車ホールディングス
- ・小田急ランドフローラ
- ・コニカミノルタ
- ・大和ハウス工業
- ・daring
- ・日立ソリューションズ
- ・関西ペイント
- ・環境工学
- ・住友林業
- ・住友化学
- ・船日ウッドアック
- ・東芝ソリューション

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科・農業)
- 博物館学芸員

学生の声

佐野翔平 SANDO, Shohei

大学院農学専攻 物質環境環境科学専攻 環境生物化学研究室 / 東京都立青山高等学校出身

微生物の性質を明らかにすることは、地球環境の正しい理解につながる

研究テーマは、光合成を行わない従属栄養性微生物の増殖。具体的には、光などの環境要因が従属栄養性の原生生物の増殖にどのような影響を及ぼすのかを調べています。実験の結果、培養液中の有機物を餌とした場合、光が当たると原生生物の増殖は抑制されることが明らかになりました。微生物の研究は非常にミクロな世界ですが、こうした性質をひとつずつ解明していくことは、地球環境を正しく理解することにつながります。大学院ではさらに研究を深めるとともに、幅広い視点から環境問題の解決に取り組んでいきたいです。



地域生態システム学科 元編 76巻

ECOREGION SCIENCE



森林、農村、都市などを含む空間をひとつの「地域」として捉え、そこに広がる生態系や生産・社会に着目した新しい研究を展開。自然環境と人間社会の生産活動が共存する地域環境空間の設計に挑戦します。



研究室PICK UP

森林保全学研究室 白木グループ
准教授 白木克繁 SHIRAKI, Katsushige



山に流れる雨水に着目し 健全な山の条件を数値化する

主な研究内容は、森林における水の循環です。降雨による雨水が土壌をどのように動き、土砂の流出にどう影響を与えているのか、こうした観点から健全な森づくりを研究し、林業との連携や土砂災害防止にも力を入れています。そのため、2週に1度は山に足を伸ばし、森の中で降雨量や光環境を測定するなど、フィールドワークも盛んです。山の実態を肌で学んだ学生たちは、卒業後も自然環境に関わる官庁や企業でその経験を活かしています。

共同獣医学科 定員 35名 6年制

COOPERATIVE DEPARTMENT OF VETERINARY MEDICINE



伴侶動物の健康と福祉の向上、野生動物の保護などを通じて、人間の健康や心の豊かさ、生活環境にも深く関わっています。共同獣医学科では、動物の疾病の治療や予防、その研究を通じて生命科学の進歩に貢献しています。



臨床検査室



研究室PICK UP

獣医内科学研究室
講師 井手香織 IDE, Keori

犬の「慢性腸症」の新たな病態を検討中。付属病院における日々の診察から課題を見つけてより良い治療を目指した研究に取り組む

犬の腸炎の研究に取り組んでいます。炎症を抑える治療や腸内環境の改善など標準的な治療でも治療効果が不十分な症例が一部にいます。そこで、今はまだ知られていない病態を見つけることで、将来的には個々の病態別に合った治療方法を目指しています。具体的には、犬にもヒトのIBS（過敏性腸症候群）に近い集団がいる可能性を考えており、学生たちと検体の分析を進めています。臨床における治療技術の習得だけでなく、研究を通じて新たな検査法や治療法の開発を目指しています。

生命工学科 定員 81名

BIOTECHNOLOGY AND LIFE SCIENCE



科学、生命科学、工学などの分野が融合した世界最先端の生命研究を行っています。日本の大学で初めて設置された生命工学科であり、生命現象の仕組みを理解し、それを応用して暮らしに役立つものを生み出すことを追究し続けています。



研究室PICK UP

教授 吉野知子 YOSHINO, Tamako

がん患者血中の希少ながん細胞を捕らえる マイクロデバイスを開発し、がん診断や創薬に役立てる

研究キーワードは、リキッドバイオプシー。これは、がん検査に用いる腫瘍細胞を採取する生検（バイオプシー）に代わり、血液などの液体を採取して診断するものであり、がん患者さんの負担を軽減できると考えられます。ここで私たちが注目するのが、血中循環腫瘍細胞（CTC）。研究室では、約50億の血球細胞から10個程度のCTCを回収するマイクロデバイスの開発を行っています。さらに、回収したCTCの遺伝子解析を行う技術も開発し、がんの新たな診断方法や治療薬の開発に役立てたいと考えています。

【2019年4月改組予定(構想中)】学科の概要・カリキュラム等は予定であり、今後変更することがあります。

本学科が目指すもの

生命工学科は、生命に関連する科学技術全てを包含するため、極めて多様な学問領域を取り扱います。これらの学問領域の基礎知識を網羅的に習得した上で、最先端の技術力、論理的な思考力・実行力および国際的コミュニケーション能力を身につけた、あらゆる生命工学分野のニーズに即応して活躍できる国際的な技術者・研究者を養成します。

カリキュラム

1・2年次は専門基礎科目で生命現象の基礎知識を習得します。2年次後期からは専門科目で高度かつ最新の知識を提供。また2・3年次を通して実験・実習がなされています。3年次後期から研究室に配属され、卒業論文のテーマを設定し、最先端の研究を行います。

学年	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		◎生命工学科卒業Ⅰ・Ⅱ ◎応用生物工学実習Ⅰ・Ⅱ ◎卒業論文
3年次	◎ライフサイエンス基礎実習Ⅱ	◎生命工学の過去Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ◎生命科学英語Ⅰ ◎生命技術英語Ⅰ・Ⅱ ◎免疫学・抗体工学 ◎生体工学 ◎細胞再生工学・組織工学 ◎バイオエンジニアリング ◎脳神経学 ◎ケミカルバイオロジー ◎バイオプロセスエンジニアリング
2年次	理学実験 ◎バイオコンピューティング・バイオインフォマティクス基礎 ◎バイオ計算・アドバンスドバイオインフォマティクス ◎物理実験 ◎生命情報化学Ⅰ・Ⅱ ◎生命情報化学Ⅲ ◎生命分析化学 ◎生命組織化学 ◎環境分析化学 ◎生命化学Ⅰ ◎分子生物学Ⅰ ◎細胞生物学Ⅰ・Ⅱ ◎生命倫理・安全管理 ◎ライフサイエンス基礎実習Ⅰ	◎生命科学Ⅰ ◎食品科学 ◎材料工学・高分子工学 ◎生物情報分析学 ◎高度バイオテクノロジー・分子製造工学 ◎バイオコンタクト ◎メディカルケミストリー ◎マリンバイオテクノロジー ◎生命工学実習Ⅰ・Ⅱ
1年次	◎線形代数学Ⅰ・Ⅱ ◎微分積分学および実習Ⅰ・Ⅱ 化学 ◎統計学 ◎化学基礎 ◎物理基礎 ◎物理学Ⅰ・Ⅱ ◎生物学基礎 ◎基礎生物化学 ◎微生物学 ◎基礎生物化学Ⅱ ◎生命工学入門・理工学入門 ◎生命情報化学Ⅰ ◎生命化学Ⅰ ◎分子生物学Ⅰ	

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

生命工学科の学び

生体情報工学

脳神経工学／生命分子情報科学／
生体分子構造学／細胞分子工学／細胞情報工学／
バイオビジネス／ナノ生命工学

応用生物工学

生命分子工学／海洋生命工学／生体電子工学／
分子生命化学／生命有機化学／生命環境工学

卒業後の主な進路

- ・第一三共
- ・出光工業製薬工場
- ・興和
- ・東和薬品
- ・積水メディカル
- ・ニプロ
- ・ナムモ
- ・ユニ・チャーム
- ・日本たばこ産業
- ・日清オイリオ
- ・豊田メグミルク
- ・キユーピー
- ・源田ビタミン
- ・マクセル
- ・丸大食品
- ・エヌター化学
- ・日本薬業
- ・東洋インキSC
- ・NTTデータ
- ・東芝
- ・シャープ
- ・ブリヂストン
- ・オリンパス
- ・ライオン など

進学

- ・東京農工大学大学院
- ・東京理科大学大学院
- ・東京大学大学院 など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許 (理科)
- 高等学校教諭1種免許 (理科)
- 博物館学芸員

学生の声

職員室 佐藤 ISOGAI, Nahe

大学院工学部 生命工学専攻 修士課程H23年度卒業/私立市川高等学校出身

融合領域「ケミカルバイオロジー」で 抗がん剤開発の基礎研究に挑む

化学と生物学を融合した「ケミカルバイオロジー」という分野で、抗がん剤開発の基礎になる研究を行っています。具体的には、ユリの球根からがん細胞を攻撃する化合物を抽出し、人のがん細胞の蛋白質と結合した際の相互作用を分析しています。現在、医療現場で使用されている抗がん剤は、がん細胞だけではなく健康な細胞も攻撃してしまいます。がん細胞だけを攻撃する化合物の働きを明らかにすれば、副作用を起こさない抗がん剤の開発に貢献できるかもしれません。

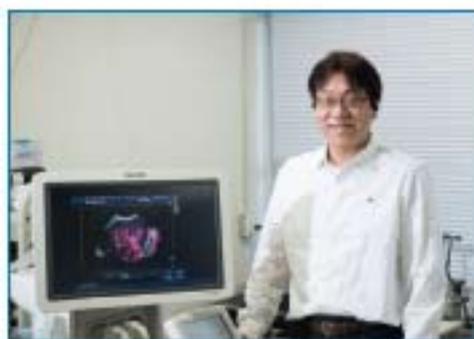
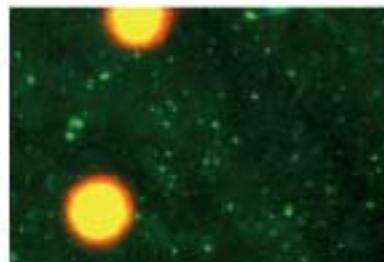
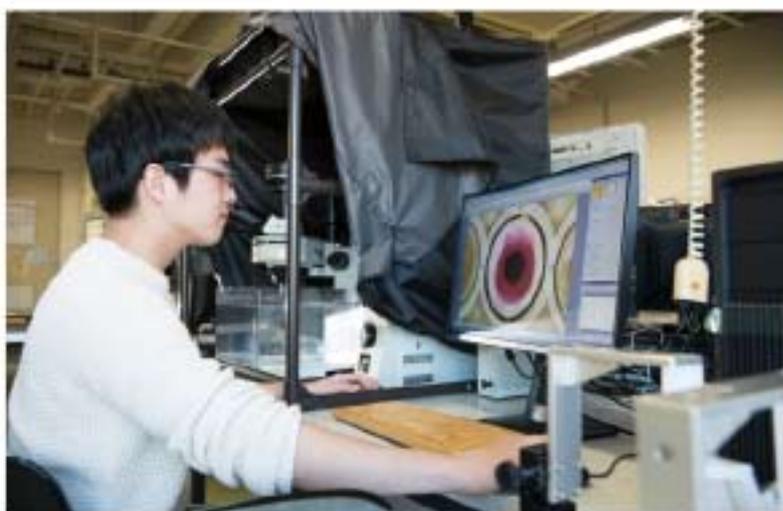


生体医用システム工学科 元号 58年

BIOMEDICAL ENGINEERING



現代医療における計測・診断技術に必要な物理学や電子情報工学等を融合した形で体系的に学ぶことで、従来の学問体系に捉われない柔軟な発想のもとに、革新的な生体医用工学技術の研究開発を行うことができる人材を養成します。



研究室PICK UP

教授 例田 興司 MASUDA, Kohji

超音波で診て、超音波で治療する—— 超音波を未来の医療技術につなげたい

身体を全く傷つけない診断・治療方法の開発を目指して、日々研究しています。ベースになるのは「超音波」。つまり、物理学や電気電子工学の知見を用いて、「波動」を深く理解し、医療に応用する研究です。医学系研究者と連携し、画像処理や医療ロボットなどと融合したユニークな研究テーマを展開しています。新たな医療技術を開発できれば、多くの命を救える可能性があります。医療で社会に貢献したいと考える人には是非、この生体医用工学と呼ばれる分野を知って頂きたいです。

【2019年4月改組予定(構想中)】学科の概要・カリキュラム等は予定であり、今後変更することがあります。

本学科が目指すもの

さまざまな生体機能を細胞、遺伝子、分子・原子レベルで理解し、医用に資する革新的な計測・分析技術の創成を行います。さらに、医療現場における医療診断のニーズを踏まえた工学のシーズ応用を目指す教育研究を通して、国際社会をリードする研究者・技術者の養成を目指します。

カリキュラム

低学年次では、数学、物理学、生物学等に加え、医療機器や計測・診断技術のしくみにかかわる専門基礎科目について学びます。高学年次には、医療応用にかかわる医用フォトリニクス、医用超音波工学、医用デバイス工学、医用メカトロニクス等について学びます。

学年	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		<ul style="list-style-type: none"> ◎生体医用システム工学特別実習Ⅰ・Ⅱ ◎生体医用システム工学特別実習Ⅰ・Ⅱ ◎卒業論文
3年次		<ul style="list-style-type: none"> ○物理学・電磁学 ○生体医用工学Ⅱ ○生命科学 ○化学基礎 ○固体物理 ○光エレクトロニクス ○量子応用 ○医用超音波工学 ○医用メカトロニクス ○放射線化学 ○生体組織工学 ○計測・制御 ○生体フォトリニクス ○医用デバイス工学 ○生体医用システム工学実習Ⅱ
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ◎数値統計学 ◎電磁気学応用 ◎固体物理 ◎熱統計力学 ◎量子力学 ◎波動物理 ◎プログラミングおよび演習 ◎電気回路 ◎電子回路 ◎生物学 ◎生体医用工学Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> 計測・制御 医用画像工学 AI入門 科学英語ゼミ 固体化学 臨床医学基礎Ⅰ・Ⅱ 生化学 特別ゼミⅡ ◎生体医用システム工学実習Ⅰ
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ◎線形代数Ⅰ・Ⅱ ◎微分積分Ⅰ・Ⅱ ◎工学基礎数学 ◎工学応用数学 ◎化学基礎 ◎生物学入門 ◎力学 ◎電磁気学基礎 ◎プログラミングおよび演習 ◎固体物理学基礎 ◎生物学 	<ul style="list-style-type: none"> 特別ゼミⅠ

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

生体医用システム工学科の学び

生体情報計測システム/生体医用フォトリニクス/生体医用光学/先端生体分子科学/生物物理学/光エレクトロニクス

卒業後の主な進路

- ・パナソニック コネクティッドソリューションズ
 - ・横河電機
 - ・三菱日立パワーシステムズ
 - ・GEヘルスケア・ジャパン
 - ・ダイキン工業
 - ・パシフィックコンサルタンツ
 - ・キヤノン
 - ・セイコーエプソン
 - ・本田技研工業
 - ・フタバ産業
 - ・ユカイ製作所
 - ・大成建設
 - ・ユー・エス・イー
 - ・ソニー
 - ・スタンレー電気
 - ・東京ガスネット
 - ・住友電気工業
 - ・フジタ
 - ・横川計測
 - ・バイオニア
 - ・三菱電機
 - ・村田製作所
 - ・日産自動車
 - ・オリンパス
 - ・日立オートモティブシステムズ
 - ・シスメックス
 - ・日本曹業エンジニアリング
 - ・清水建設
 - ・エム・ティ・フィールドサービス
 - ・東京エレクトロン
 - ・中国電力
 - ・日本電気
 - ・コナミ
 - ・トプコン
 - ・花王 など
- 進学**
- ・東京農工大学大学院
 - ・物入大学院 など

取得できる免許・資格

- 情報科学士

学生の声

大塚拓也 OTSUKA, Takuya

生物システム応用科学府 生物機能システム科学専攻/私立福岡高等学校出身

超音波で免疫細胞を疾患部に誘導する研究 医療現場に応用し、がん治療の発展をめざす

近年、新たながんの治療法として、がん細胞を攻撃する免疫細胞を用いた治療法である「免疫細胞療法」が注目を集めています。私の研究テーマは、「超音波による細胞の動態制御」、免疫細胞に微小気泡を付着させ、超音波を用いて癌の部位まで誘導・集積率の向上を目指す研究です。うまく誘導できなかったり、新しい分野で困難なことも多いですが、「がん治療の発展に貢献したい」という強い思いで日々の実験に取り組んでいます。今後は人工血管だけでなく、動物を用いた実験にも挑戦し、医療現場での実用化を目指します。



応用化学科 定員 81名

APPLIED CHEMISTRY



化学は物質の構造や機能を理解し、新しい物質を創り出す分野です。本学科では原子から高分子に至る幅広いスケールの化学物質の構造や機能などを対象とし、様々な分野において活躍できる独創性や応用力を身に付けた人材を育成します。



研究室PICK UP

教授 山崎 孝 YAMAZAKI, Takashi

医薬や日用品まで幅広く利用される
「フッ素化合物」の特性を知り、新たな合成手法を開発

医薬や歯磨き用ペースト、フライパンの表面加工、スマホの保護シート……。フッ素化合物は、私たちの身の回りのさまざまなものに使われています。そのフッ素化合物を合成するための新手法の開発が、私たちの研究テーマ。合成した化合物の生体活性試験結果をもとに、より高活性の化合物を開発するのも私たちの守備範囲です。この分野の魅力は、適切な位置へのフッ素導入で、化合物に新たな性質を与えられること。まだ未知の領域が多いフッ素の世界に挑戦してみませんか？

【2019年4月改組予定(構想中)】学科の概要・カリキュラム等は予定であり、今後変更することがあります。

本学科が目指すもの

原子から高分子に至る幅広いスケールの化学物質の構造や機能などを、講義、実験、研究の対象としています。有機化学、無機化学、物理化学、高分子化学等の基礎科目から、半導体化学、エネルギー化学、触媒化学、バイオ材料化学、高分子物性等の応用科目まで習得します。このように化学や材料科学の基礎から応用まで学ぶことによって、多様な化学・材料科学の領域や、化学と環境・食品・医薬等との境界・融合領域において活躍できる研究開発力が身につきます。

カリキュラム

化学に関する幅広い科目を無理なく着実に学習できるカリキュラムが用意されています。1～3年次の各学年には実験科目がバランス良く配置されており、卒業研究は研究室において化学の最先端領域の研究指導を受けられる体制が整えられています。

学年	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		◎卒業論文 ◎応用化学セミナーⅠ ◎応用化学セミナーⅡ
3年次		統計力学 構造化学 分子分光学 量子化学計算概論 エネルギー化学 化学工学 高分子物性Ⅰ 高分子物性Ⅱ 物性化学 セフチック化学 半導体化学
2年次	物理化学Ⅱ 反応速度論 量子化学Ⅰ ◎物理化学実験 無機化学Ⅱ 無機化学Ⅲ ◎無機化学実験 有機化学Ⅱ 化学総合論	◎有機化学講義 材料電機化学 光学基礎 生体材料化学Ⅰ 環境物質化学概論
1年次	◎応用化学入門 ◎物理化学Ⅰ ◎無機化学Ⅰ 分析化学 ◎有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 力学概論 運動・波動の物理 ◎科学基礎実験	化学基礎

◎印の科目は必修

応用化学科の学び

応用化学

分子変換化学/光電子材料化学/分子設計化学/
 無機固体化学/電子エネルギー化学/分子触媒化学/
 高分子物理化学/有機・高分子材料化学/
 有機物性化学/バイオ高分子材料/超分子-分子集積
 構造材料

卒業後の主な進路

- アスタラス製薬
 - クラレ
 - クレハ
 - コニシ
 - 住友化学
 - 積水化学工業
 - 東ソー
 - 豊田合成
 - 日産化学工業
 - 三井化学
 - 三菱ガス化学
 - 三菱ケミカル
 - IXTGエネルギー
 - JSR
 - プリアストン
 - 横浜ゴム
 - 富士通
 - 日本電気
 - 日本郵船
- 三菱マテリアル
 - 日野自動車
 - 本田技研工業
 - GSユアサ
 - デンソー
 - 日本精工
 - キヤノン
 - パナソニック
 - 富士電機
 - RICOH
 - 凸版印刷
 - ベルメタル
 - キューピー
 - 豊田メグミルグ など
- 進学
- 東京農工大学大学院
 - 東京大学大学院
 - 京都大学大学院 など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科)
- 高等学校教諭1種免許(理科)
- 博物館学芸員

学生の声

板村 希 MATSUMURA, Takashi

大学院工学部 応用化学専攻(有機材料化学専修) 博士前期課程2年/国立福井工業高等専門学校出身

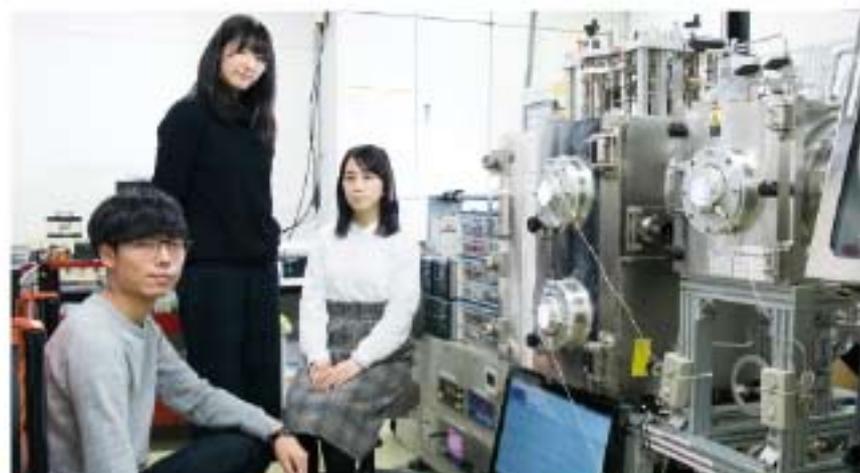
次世代エネルギーで環境に配慮しながら 人間の暮らしを豊かにしていきたい

以前からエネルギー問題や環境問題に関心があり、また高専でプラスチックやゴムなどの高分子材料や電池について学んだこともあって、応用化学分野に進みました。現在の研究室でも、燃焼負荷を軽減するエネルギーデバイスとして、大容量の次世代リチウム電池の作製と評価を行っています。将来的には、電池や高分子について学んだ知識を社会に還元するため、環境と利便性の両面に配慮した新材料を研究開発していきたいと考えています。

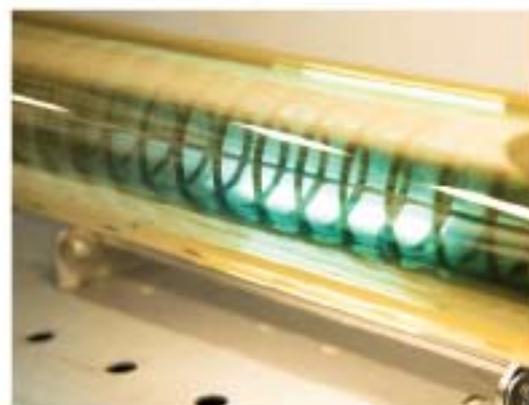


化学物理工学科 文系 81名

APPLIED PHYSICS AND CHEMICAL ENGINEERING



化学工学、物理工学、電気電子工学、機械工学など幅広い分野の専門家により、エネルギー、新素材から環境までを習得できるカリキュラムを整備。地球規模の課題を解決し、新産業を創出する課題解決力を備えた技術者を育成します。



研究室PICK UP

准教授 梶 敏彦 KAJI, Toshihiko

結晶を精密につくる薄膜成長法を独自に編み出し、新しい太陽電池の開発に挑戦する

インクやペンキに含まれる色鮮やかな有機色素染料を半導体に用いた有機薄膜太陽電池などの「新しい太陽電池」をつくる研究をしています。有機色素染料は結晶になると高い電荷移動度と半導体特性を示します。この結晶を精密につくり太陽電池にするため、真空蒸着時に液体分子を導入する独自の薄膜成長法も研究しています。物理・化学・電気電子工学の複合分野の研究で、未知のことに対して、論理的に考えながら、間違えを恐れずに挑戦する力を身に付けてほしいと考えています。

【2019年4月改組予定(構想中)】学科の概要・カリキュラム等は予定であり、今後変更することがあります。

本学科が目指すもの

エネルギー・環境等の地球規模の課題を解決し、新産業を創出する課題解決力を身につけるには、化学と物理の総合的理解が必要です。本学科では、総合的理解が必要な課題、例えば「新素材を用いた高効率・低環境負荷のエネルギー変換デバイスの開発」など、社会的ニーズが高い課題に挑戦する高度グローバルエンジニアを育成します。化学・物理の総合理解という社会からの要請が強く反映された、他大学には存在しないオンリーワンの学科で学びましょう。

カリキュラム

数学、化学、物理などの基礎科目および、化学工学と物理工学をバランス良く履修するカリキュラムです。専門科目ではエネルギー、新素材、環境の3つのキーワードを重視し、科目群を用意しています。研究室配属により実践的な課題解決力を身につけます。

学年	専門科目	
	専門基礎科目	専門科目
4年次		プロセスデザイン工学 ①卒業論文
3年次	○熱統計力学および演習 科学技術英語 国際情報工学	○エネルギープロセス工学 エネルギー変換工学 エネルギーシステム工学 ○組織工学 バイオプロセス工学 環境制御工学 ○電気電子材料工学 高エレクトロニクス 高分子工学 電子制御工学 エンジニアリング製造演習 科学技術者倫理 インターンシップ 反転工学 ①化学工学基礎 ナノ電子材料工学 ②物理工学基礎 ③研究室配属設置
2年次	地学演習 微分方程式Ⅰ 微分方程式Ⅱ ベクトル解析 数値計算 生物化学 分析・薬理分析化学	有機化学 ○移動現象論および演習 ○工業力学 ○エレクトロニクス基礎 ○電解反応および演習 ○量子力学および演習 ○システム工学基礎
1年次	①線形代数学Ⅰ ②微分積分学Ⅰ ③線形代数学Ⅱ ④微分積分学Ⅱ 地学 ⑤物理学基礎Ⅰ ⑥物理学基礎Ⅱ ⑦化学基礎 ⑧化学物理基礎 ⑨生物化学基礎 ⑩化学物理基礎 ⑪化学物理基礎 ⑫ケミカルエンジニアリング基礎	プロセス制御工学 ①物理化学物理工 学基礎 ②化学物理工学基礎 プロジェクト演習 ③化学物理工学基礎 1・II 反応速度論 拡散分離工学 粉体プロセス工学 電機工学 電気回路演習 電子デバイス工学 1・II
1年次	①線形代数学Ⅰ ②微分積分学Ⅰ ③線形代数学Ⅱ ④微分積分学Ⅱ 地学 ⑤物理学基礎Ⅰ ⑥物理学基礎Ⅱ ⑦化学基礎 ⑧化学物理基礎 ⑨生物化学基礎 ⑩化学物理基礎 ⑪化学物理基礎 ⑫ケミカルエンジニアリング基礎	情報応用プログラミング

◎印の科目は必修、○印の科目は選択必修

化学物理工学学科の学び

化学物理工学

化学工学/応用物理学/化学エネルギー工学/
環境バイオエンジニアリング/反転工学/分離工学/
物性工学/異相界面工学/プロセスシステム工学/
量子制御工学/高次元工学/電子制御工学/
量子過程工学/量子光学/エネルギーシステム工学

卒業後の主な進路

- ・三菱ケミカル
 - ・富士フイルム
 - ・日産自動車
 - ・花王
 - ・出光興産
 - ・キヤノン
 - ・キューピー
 - ・千代田化工建設
 - ・住友化学工業
 - ・東ソー
 - ・ブリヂストン
 - ・コニカミノルタ
 - ・酒造子
 - ・TDK
 - ・日揮
 - ・三菱重工業
 - ・NOK
 - ・高砂製作工業
 - ・東洋インキ
 - ・日本北産
 - ・ユニチカ
 - ・三菱化学工業
 - ・在野製作所
 - ・大和社
 - ・凸版印刷
 - ・クレハ
 - ・王子製紙
 - ・オルガノ
 - ・富士ゼロックス
 - ・日立製作所
 - ・日本電気
 - ・島津製作所
 - ・板河電機
 - ・トヨタ自動車
 - ・パナソニック など
- 進学
・東京農工大学大学院 など

取得できる免許・資格

- 中学校教諭1種免許(理科・数学)
- 高等学校教諭1種免許(理科・数学)
- 博物館学芸員

学生の声

島崎七寿 SHIMAZAKI, Nanami

大学院工学部 物理システム工学専攻 博士前期課程2年/私立育英女子高等学校出身

量子効率の高い有機物質「ペンタセン」を用いた有機薄膜太陽電池を研究

「有機薄膜太陽電池」の研究・開発をしています。これは、有機半導体を用いた太陽電池のこと。私が着目しているのが、「ペンタセン」という有機半導体。「ペンタセン」では通常の物質より、同じ個数の光子を当てた時に放出される電子の個数が多いため、太陽電池の発電効率を劇的に向上させる可能性があります。現在は基礎研究の段階ですが、いずれは軽量かつフレキシブルに変形できる「有機薄膜太陽電池」が身近なものになるよう、技術の発展に貢献したいです。



機械システム工学科 102年

MECHANICAL SYSTEMS ENGINEERING



最先端の工作機械を用いた実験や実習を行い、ハードウェアからソフトウェアまでの幅広い分野を研究対象としています。これらの研究を通し、環境と調和した、時代を越える次世代のハイパーマシンを創造します。



研究室PICK UP

ベンチャー研究室 (ロボティクス・人体運動学)
准教授 ベンチャー・ジェンチャン VENTURE, Gentiane



人間の感情と動作の関係を研究し 人間と人間をつなぐロボットを考える

ロボティクスの研究対象は、人間とロボットの動作にまつわる運動力学のほか、情報系、電気系、さらには心理学、社会学、哲学まで幅広い分野に及びます。人間をサポートできるロボットを考えるには、人間の肉体的な動きだけでなく、心の動きにまで目を向ける必要があるためです。人間の真似ではなく、ロボットとしてどう動けば人間に受け入れられるのかを研究し、社会におけるロボットの新たな位置付けを提案したいと考えています。

知能情報システム工学科 文庫 120巻

ELECTRICAL ENGINEERING AND COMPUTER SCIENCES



知能情報システム工学科では、コンピュータのしくみやプログラミングといった電気電子工学、情報工学の基礎を確実に身につけることができます。さらに最新のデータ処理技術、人工知能技術についても学ぶことができます。



研究室PICK UP

准教授 藤田 桂英 FUJITA, Katsuhide

自然言語処理とマルチエージェントを融合させ 人工知能の新たな可能性に挑む！

人工知能の研究をしています。主なテーマは、「自然言語処理」と「マルチエージェントシステム」。「自然言語処理」は議論掲示板から特徴的な表現を学習して自動で内容を判別したり、投稿内容のタイトルと要約文を自動で生成したりするものです。現実の社会システムをコンピュータ上で実現するための「マルチエージェントシステム」の研究もしています。さらに、これらの研究を連携させ、コンピュータが現実世界の議論や合意を支援する技術の開発に挑みます。

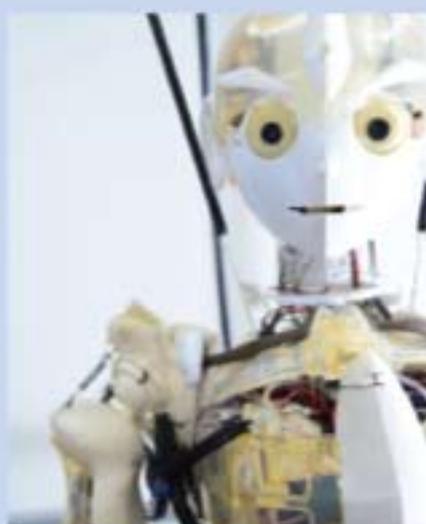
大学院

GRADUATE SCHOOL

工学府

博士前期課程・博士後期課程・
専門職学位課程

博士前期課程に6専攻、専門職学位課程1専攻、博士後期課程に4専攻と、東京外国語大学及び電気通信大学と連携し共同専攻「共同サステナビリティ研究専攻」を設置（設置構想中）し、所属する専攻の講座で高度な専門性を身につけるほか、他の専攻や企業などとの連携、共同研究を通して横断的・学際的な研究に取り組むこともできます。工学府は社会にも広く開かれた学びを展開しており、企業や研究機関に所属する研究者なども就業しながら博士後期課程を修了することができます。



博士前期課程

生命工学専攻
応用化学専攻
機械システム工学専攻
物理システム工学専攻
電気電子工学専攻
情報工学専攻

博士後期課程

生命工学専攻
応用化学専攻
機械システム工学専攻
電子情報工学専攻
共同サステナビリティ研究専攻
(設置構想中)

専門職学位課程

産業技術専攻

農学府

修士課程

農学府には9専攻を設置しています。この専攻編成は、学部で学んだ内容よりも専門性を重視して細分化され、各専攻にはそれぞれ複数の教育研究分野などが配置されています。附属施設で実験などに取り組みながら修士論文のテーマに沿った研究を進めます。修士課程修了後は連合農学研究科博士課程への進学が可能です。



修士課程

生物生命科学専攻
共生持続社会学専攻
応用生命化学専攻
生物制御科学専攻
環境資源物質科学専攻
物質環境環境科学専攻
自然環境保全学専攻
農業環境工学専攻
国際環境農学専攻

平成31年度に上記9専攻から、国際通用性のある課題解決型技術者としての人材、優秀な国内型博士課程への高度人材としての高地を養成する「農学専攻」の1専攻・6専攻に改組する予定です。（改組後の内容は未定であり、予告なく変更する場合があります。）

生物システム応用科学府

博士前期課程・博士後期課程・

一貫制博士課程（5年）・博士課程（後期3年）

「生物に学び、新しいシステムを創造する」をコンセプトとし、農学、工学およびそれらを融合した学際領域の教育研究を行っています。生物機能システム科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）および、実践科学リーディング大学院プログラムの教育拠点である食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程（5年）、さらに早稲田大学との共同専攻である共同先進健康科学専攻（博士課程（後期3年））を設置して新しい科学技術を創造するためのさまざまな取り組みを行っています。



博士後期課程

生物機能システム科学専攻

博士前期課程

生物機能システム科学専攻

一貫制博士課程（5年）

食料エネルギーシステム科学専攻

博士課程（後期3年）

共同先進健康科学専攻

学部での基礎知識を活かし、自らが研究の目標を定め、研究課題を見つけ出し、研究課題に対して解決方法を探し出す能力を磨きます。また、研究課題についてのコミュニケーションあるいは発表能力を身につけるトレーニングを行います。本学の大学院には、3学府、2研究院、研究科として連合農学研究科があります。学府、研究科とは学生が所属する教育組織、研究院とは教員が所属する研究組織です。

連合農学研究科

博士課程（後期3年）

本学、茨城大学および宇都宮大学の大学院農学研究科（農学府）博士課程を母体として編成された博士課程のみの大学院です。学生1名に関係分野の教員3名を指導教員として配置し、綿密で効率的な研究指導体制をとっています。全学生の約3割が留学生という国際色豊かな大学院です。



博士課程（後期3年）

生物生産科学専攻
応用生命科学専攻
環境資源共生科学専攻
農業環境工学専攻
農林共生社会科学専攻

大学院農学府 共同獣医学専攻

博士課程

共同獣医学科の卒業生は、岩手大学と共同で設置している獣医学の大学院博士課程（修業年限4年）に進むことができます。動物基礎医学、獣医衛生科学、獣医臨床医学のうちのひとつに所属して研究を進めます。



博士課程

共同学専攻

実践科学リーディング大学院

5年一貫博士教育プログラム

グリーン・クリーン食料生産を支えるイノベーションリーダー養成のための大学院教育（5年一貫博士教育プログラム）です。「実学（実践科学）」の代表分野である農学および工学の融合を基盤とし、さらに、イノベーション創出力・国際展開力・人間力を具備したリーダーの養成を目的として、世界のイノベーション機関との連携を促進させ、実践力を養う5年一貫の教育プログラムを展開します。「食」に関する地球規模での究極的な課題に挑戦し、食の生産性やエネルギー依存形態を変革する「構想力」と「実践力」を備えた国際的なリーダーを養成します。生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻では、このプログラムを実施しています。



学生の声

木田 仁 KIDA, Hitoshi
実践科学リーディング大学院2013年度入学

多様な分野を学ぶ機会がある

工学部時代は機械系の研究室で「匂いセンサー」の研究をしていました。「匂い」を分析するには、生物や化学の専門知識が不可欠です。そこで、実践科学リーディング大学院に進学し、博士前期課程2年次に研究室ローテーションの制度を利用して、生物システム応用科学府の研究室に所属。ここで、研究へのアプローチの幅が圧倒的に広がりました。現在は、匂いセンサーの研究を進展させ、匂いの成分を結合する蛋白質を合成し、それを用いて匂いを水に溶かすという研究に取り組んでいます。機械系の視点だけではとどまらなかった新しい研究の成果を就職先でも役立てたいです。



府中キャンパス

東京都内にありながら、約27万平方メートルという広大な敷地を誇る府中キャンパス。緑あふれる構内には、講義棟や研究棟、先進の研究施設が設置されており、自然に恵まれた環境で学ぶことができます。さらに、広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センターの農場が広がっています。





A:1934年に竣工された農学部本館。1990年には国登録有形文化財に登録されました B:本館内の大講堂 C:蔵書数約28万冊の府中国書館 D:中庭が研究に使われることも E:本館内にある資料室 F:高野原法大寺で活躍する鳥獣部 G:共同獣医学科の研究・教育の場となっている動物医療センター H:実習で生産・収穫した農林産物を販売 I:先端植物工場研究施設は、収益性に期待がでる「農機工場」の実現を目指した実験施設 J:国内外の入学生と共同生活する特養 K:最新設備が揃う遠位子実験施設 L:土産ではオリジナルグッズを販売

CAMPUS MAP



- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1 1号館 | 22 運動場附属施設 |
| 2 2号館 | 23 本部・大学教育センター |
| 3 3号館 | 24 本部管理棟 |
| 4 4号館 | 25 保健管理センター |
| 5 新4号館 | 26 50周年記念ホール |
| 6 5号館 | 27 農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター |
| 7 6号館 | 28 遠位子実験施設 |
| 8 7号館 | 29 農学部R1支線研究室 |
| 9 8号館 | 30 乳牛舎 |
| 10 農学部本館(国書センター西ヤサテライト) | 31 府中国際交流会館 |
| 11 農学部第1講義棟 | 32 機庫(女子寮) |
| 12 農学部第2講義棟 | 33 府中第2宿舎 |
| 13 語学演習棟 | 34 府中第3宿舎 |
| 14 府中国書館 | 35 府中第4住宅 |
| 15 動物医療センター | 36 先端植物工場研究施設 |
| 16 農学部附属膜タンパク質利用研究施設 | 37 農工夢市場 |
| 17 府中体育館 | 38 豚舎 |
| 18 総合屋内運動場施設 | 39 機庫 |
| 19 福利厚生センター | |
| 20 大学院連合農学研究科管理研究棟 | |
| 21 共同先端健康科学専攻 | |

小金井キャンパス

豊かな自然に恵まれ、樟並木と銀杏並木が印象的な小金井キャンパス。

都心から電車で30分圏内と好立地に位置し、工学の基礎から応用までを学ぶ講義棟をはじめ、研究開発に取り組む各種施設が立ち並びます。国内の最先端を担う研究開発を行うのに適した環境となっています。





A:ものづくり創造工学センターでは、実験装置の製作と機械操作の実習等を行います B:2015年にリニューアルした生協 C:大学に属する資料や、国産の教育研究施設を展示する科学博物館 D:研究者の交流をする先端産学連携研究推進センター EF:東京農工大学創設140周年を記念して建設されたエリプス G:四季折々の景観を見せる中庭 H:学術研究支援センターは各種分析機器を管理 I:食堂は一般の方々利用可能 J:道玄基アス等、オープンなスペースを設けた新1号館 K:キャンパス中央に位置する小金井図書館

CAMPUS MAP

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1 1号館 | 23 先端科学実験棟 |
| 2 2号館 | 24 環境管理施設 |
| 3 3号館 | 25 ものづくり創造工学センター |
| 4 4号館 | 26 体育館・武道場 |
| 5 5号館 | 27 工学部RI実験研究棟 |
| 6 6号館 | 28 小金井国際交流会館 |
| 7 7号館 | 29 棒寮(男子寮) |
| 8 8号館 | 30 板寮(女子寮) |
| 9 9号館 | 31 小金井第2宿舍 |
| 10 10号館 | 32 140周年記念会館(愛称:エリプス) |
| 11 11号館 | 33 次世代キャパシタ研究センター |
| 12 12号館 | 34 管理棟(愛称:CUSE)
(小金井地区事務部) |
| 13 13号館(国庫センター) | |
| 14 新1号館 | |
| 15 工学部講義棟 | |
| 16 中央棟 | |
| 17 小金井図書館 | |
| 18 BASE本館 | |
| 19 工学部総合会館 | |
| 20 CAD/CAM実習施設 | |
| 21 先端産学連携研究推進センター | |
| 22 科学博物館 | |



キャンパスライフ

1年を通してさまざまなイベントが行われ、自然豊かなキャンパスでは四季の変化を感じることができます。東京農工大学で経験する学生生活は、ここでしか得られない貴重なものです。また、府中・小金井キャンパスの垣根を越えて交流が行われるサークル活動は、文化系から体育系までとさまざま。共通の趣味や目的をもった仲間と充実したキャンパスライフを送ることができます。



SCHEDULE	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	■ 新入生オリエンテーション ■ 入学式(春季) ■ 学年開始、新学期開始	■ 創立記念日			■ 夏季休業	■ 入学式(秋季) ■ 新学期開始	■ 入学式(秋季) ■ 新学期開始		■ 冬季休業			■ 学年終了、新学期終了 ■ 卒業式
	前学期									後学期		

海外まで
採取に
いくことも。



昆虫研究会



管弦楽団



写真部



植物研究会



吹奏楽団



竹桐会



馬術部

毎朝練習しています!



漫画研究部

文化系サークル

- E.S.S.
- IAESTE同好会
- SF研究会
- アカペラサークル ANIT
- 囲碁部
- 将棋部
- 歌研研究会
- 宇宙工学研究会
- 映画研究会
- エレクトーンサークル
- 演劇部
- 管弦楽団
- キター部
- 美術部
- 文芸部
- マイクロコンピュータクラブ
- 演劇研究会
- モダンジャズ研究会
- 野生動物研究会
- 演習研究会
- ロボット研究会R.U.I.
- 作曲 DIM サークル
- TUAT Formula
- 内友会
- カードゲームサークル
- 映画研究会
- グラフィッククラブ
- 演劇部
- 航空研究会
- 昆虫研究会
- 茶道部
- 川東文化研究会
- ジャグリングサークル

体育系サークル

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- オリエンタリング部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式野球部
- 軟式野球部
- ゴルフ部
- リッカー部
- 自転車部
- 自動車部
- 柔道部
- 卓球部
- 空手道部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- スキー部
- ソフトボール部
- 卓球部
- 深体部
- テーリングカマー部
- テコンドー部
- バイク部
- 馬術部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ハンドボール部
- フォークダンス部
- フットサルサークル

自主ゼミ

- 読者の会
- ごみダイエットNOKO
- 農工キライ塾
- 白ごくりの会
- パラ会
- のたっと
- 金魚ゼミ
- ぬいらー組
- 持ち部
- 森の派出所
- 安かり農工団
- ビール酵母の会

学生生活サポート

経済的なことから、勉学環境、日常生活まで、誰もが利用できるバックアップ体制となっています。

保健管理センター

府中キャンパス、小金井キャンパスにそれぞれ設置しています。医師、カウンセラー、看護師、非常勤学校医を有する本センターでは、学生の心身の健康維持・増進を図るため、健康相談、カウンセリング、定期健康診断、病気やけがの応急処置などを行っています。

府中キャンパス 保健管理センター



【場所】
府中キャンパス正門前かい
【予約・お問い合わせ】
TEL 042-367-5548
【受付日時】
月～金：9時00分～16時30分

小金井キャンパス 保健管理センター



【場所】
小金井キャンパス管理棟1階
【予約・お問い合わせ】
TEL 042-398-7171
【受付日時】
月～金：9時00分～16時30分

特別修学支援室



身体や感覚機能に障がいのある学生、その他さまざまな修学上の問題を抱える学生を支援しています。

TEL 042-367-5546 / FAX 042-367-5557
〒183-8503 東京都府中市瑞穂町3-5-8

工学部総合会館・農学部福利厚生センター等

学生の障いの場、学生同士や学生と教職員の親睦を図るための施設として農学部内に「農学部福利厚生センター」、工学部内に「工学部総合会館」の施設を設置。学生の課外活動や学生と教職員のレクリエーション等のための合宿研修施設も用意しています。

工学部総合会館・農学部福利厚生センター



東京農工大学消費生活協同組合が食堂をはじめ、大学生活に便利な文房具・食品・オリジナルグッズの販売や住まいなどの紹介を行っています。

奨学金

東京農工大学では、学生一人ひとりに合わせて奨学金を用意しています。

奨学金には、いくつか種類があり東京農工大学独自の奨学金、日本学生支援機構の奨学金、地方公共団体・民間団体等の奨学金などがあります。

日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構奨学金の貸付を受けるには、経済的に困難というだけでなく、成績等も含めた選考のうえ採用となります。

日本学生支援機構奨学金	
第一種奨学金（無利子）	
自宅通学者	45,000円、30,000円、20,000円（月額）から選択
自宅外通学者	51,000円、40,000円、30,000円、20,000円（月額）から選択
第二種奨学金（有利子）	
申込者の経済的な必要度に応じて 月額3万円、5万円、8万円、10万円、12万円の5種類から選択できます。	

問い合わせ先 | 府中地区学生支援室 学生生活係 TEL 042-367-5579
小金井地区学生支援室 学生生活係 TEL 042-398-7011

東京農工大学独自の奨学金

東京農工大学では、独自の給付型奨学金制度を設けています。東京農工大学教育研究振興財団の援助を受けて行っている奨学金は、前年度の学業成績、人物ともに特に優秀な学生に対し奨学金を給付しています。そのほか博士課程内部進学向けの東京農工大学奨励奨学金、研究を支援する研究奨励金「JURITSU（自立）」などの制度があります。

問い合わせ先 | 府中地区学生支援室学生生活係 TEL 042-367-5579
小金井地区学生支援室学生生活係 TEL 042-398-7011

地方公共団体・民間団体等の奨学金

地方公共団体・民間奨学財団が募集する奨学金は、大学を経由して募集するものと、奨学団体が直接募集するものがあります。大学を経由して募集するものは、各担当窓口にて案内しますので、希望する場合には所定の期限内に申請手続きを行ってください。個人申請の場合には、各募集先の申請方法を確認し手続きをしてください。なお、奨学金は申請資格を満たしていても、必ず採用されるとは限りません。

平成28年度の募集実績はこちら
http://www.tuats.ac.jp/campuslife_career/campuslife/tea/syogakkin/syogakkin_koukyou/

学生寮・部屋探し

東京農工大学では、良好な学生生活と勉学の環境を提供するために学生寮を設置しています。入寮条件などの詳細情報は、大学のホームページにて提供しています。賃貸アパート等の部屋探しを希望する学生には、各キャンパスの学生支援室学生生活係にて近隣の住宅情報を提供しています。近隣の賃貸アパート等（1K、バス・トイレ付）の賃貸相場は60,000円～75,000円ほどです。

寮名	府中キャンパス		小金井キャンパス	
	個室(女子寮)	個室(混住)	個室(女子寮)	個室(男子寮)
部屋の面積	1人部屋(8㎡)	1人部屋(16㎡)	1人部屋(14㎡)	1人部屋(17㎡)
収容定員	48名	男子学生76名 女子学生34名	18名	200名
借賃料(月額)	4,300円	37,600円	30,000円	30,000円
共益費(月額)	なし	2,200円	2,200円	2,200円
雑費	水光費・インターネット使用料など			
設備	共用風呂・共用トイレ・自動洗濯機	シャワー・トイレ ミニキッチン付き	バス・トイレ・ミニキッチン付き	

入学科・授業料

入学科・授業料免除制度について

平成29年度			
区分	授業料	入学科	検定料
学部生	年間 635,800円	282,000円	17,000円
学部生 (3年次編入生)			30,000円
大学院生 (産業技術専攻を除く)	年間 672,400円		
大学院生 (産業技術専攻)			

経済的な理由によって入学科・授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀であると認められる者に対し、選考のうえ、入学科・授業料の全額または半額を免除する制度です。

入学科・授業料徴収猶予制度について

経済的な理由によって入学科・授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀であると認められる者に対し、選考のうえ、前期猶予者については当該年度8月末日まで、後期猶予者については当該年度2月末日まで入学科・授業料の徴収を猶予する制度です。

単位互換制度

多摩地区にある国立4大学（東京外国語大学、東京学芸大学、電気通信大学、一橋大学）をはじめ、国際基督教大学*、東京海洋大学*などの大学と単位互換制度を結んでいます。キャンパスの枠を超えた多彩な履修機会を無料で提供し、学生の学びへの意欲を積極的にサポートします。

多摩地区の国立4大学を中心としたキャンパスで学べる	
学部	東京外国語大学/東京学芸大学 電気通信大学/一橋大学 国際基督教大学* 東京海洋大学* (国際工学部のみ) 筑波大学* 高崎技術科学大学*
大学院	東京外国語大学/東京学芸大学 電気通信大学/一橋大学/国際基督教大学* 東京海洋大学*/上智大学*

*東京海洋大学(海洋工学部)との単位互換は工学部・工学府のみとなります。*印は多摩地区国立4大学単位互換制度ではなく、本学が独自に単位互換を実施している大学です。

数字でみる農工大

教員1人に対して
学生



常勤407名、非常勤75名の教員が在籍しており、学部生でみると教員1人あたりの学生数は約9人、研究室でみると平均2～3人、少人数による教育を行っています。

教員あたりの
民間企業との
共同研究実施件数



大学満足度

平成27年度に実施した学生生活実態調査では、9割に近い学生が大学に満足しているという回答を得ることができました。



男女比

全国の理系国立大学の中でトップクラスの女子学生比率。

農学部



工学部



高い大学院進学率

農学部



工学部



東京農工大学の大学院進学率は、大学全体では72%と多くの学生が進学をしています。

教員あたりの学術論文数



入試情報

平成31年度募集人員

備考 ①併願日程の募集人員には、帰国子女、社会人および私立外国人留学生入試の若干名を含みます。
②ゼミナール入試、SAIL入試および推薦入試の合格者が、募集人員に満たなかった場合は、その差額分は併願日程の募集人員に充てます。

			一般入試		特別入試							
			前期	後期	ゼミナール(AO入試)	SAIL(AO入試)入試	推薦入試(工学部)	推薦入試(農学部)	帰国子女	社会人	私立外国人留学生	
出願期間(平成31年度入試)			1/28 - 2/6		10/10 - 10/16	8/1 - 8/10	11/1 - 11/7	1/18 - 1/24	1/18 - 1/24	1/18 - 1/24	1/28 - 2/6	
選考期日(平成31年度入試)			2/25	3/12	12/1	9/30	12/1		2/25-2/28	2/25-2/28	2/28	
学部	学科	入学定員	募集人員(人)									
農学部	生物生産学科	57	38	13	募集しない	募集しない	募集しない	6	若干名	若干名	若干名	
	高市生物科学科	71	47	16				8	〃	〃	〃	
	資源資源科学科	61	40	12				3	6	〃	〃	〃
	地域生態システム学科	76	53	15				8	〃	〃	〃	
	六甲獣医学科	35	25	8				4	募集しない	募集しない	〃	
	学部計	300	203	62				3	32			
工学部	生体工学科	81	46	25	募集しない	募集しない	10	若干名	募集しない	若干名		
	高市化学科	81	44	29			6	〃			〃	
	化学物質工学科	81	44	29			4	4			〃	〃
	生体医用システム工学科	56	30	20			6	〃			〃	〃
	機械システム工学科	102	55	37			募集しない	10			〃	〃
	知能情報システム工学科	120	55	43			7	5			〃	〃
	学部計	521	284	183			17	37				
合計	821	528	222	3	17	37	32					

入試関係資料について(予定)

	大学案内	入試情報	入学者選抜要項	AO入試学生募集要項	特別入試学生募集要項	一般入試学生募集要項
	5月中旬	6月中旬	7月中旬	7月中旬	6月下旬	10月下旬
東京農工大学生留(宅配)	〇	〇	〇	〇	〇	〇
テレメール	〇	〇	〇	〇	〇	〇
モバっちょ	〇	〇	〇	〇	〇	〇

東京農工大学生留(宅配) インターネット、携帯電話・スマートフォンおよびFAXにてお申し込みください。

〈申し込み先〉
フォームに必要事項を入力し、内容を確認の上、送信してください。
インターネット・スマートフォン <http://www.univceop.jp/tuat> FAX: 042-352-7222

〈宅配に関する問い合わせ先〉
東京農工大学生留
電話: 042-366-0762 (夏季休業日・年末年始・土日・祭日を除く10時～14時)

テレメール 自動音声応答電話またはインターネットにより請求することができます。

1. 自動音声応答電話による場合

①次の電話番号へダイヤルしてください。IP電話: 050-8601-0101
※IP電話: 一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも40分毎に約12円です。
②資料請求番号(6桁)をダイヤルしてください。

大学案内	562320	入学者選抜要項	562320	入学者選抜要項+大学案内	562300
一般入試学生募集要項	562300	一般入試学生募集要項+大学案内	562300	特別入試学生募集要項	562340
AO入試学生募集要項	561780	AO入試学生募集要項+大学案内	562440	入試情報	567140

③後はガイダンスに従って操作してください。料金はお届ける資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、お支払いください。
テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先
テレメールカスタマーセンター: IP電話050-8601-0102 (受付時間8:30～18:00)

モバっちょ 携帯電話・スマートフォンまたはパソコンにより請求することができます。お急ぎの方は宅配係をご利用もできます。

インターネットのみの利用となります。 <http://4je-mb.jp/tuat/>
パソコン、携帯電話会社・スマートフォンともアドレスは共通。携帯電話・スマートフォンから請求すると、月々の通話料金を一緒にお支払いいただけます。
クレジットカード払い、コンビニ払いも選択できます。資料請求代金に加えて、振替払い、クレジットカード払いは50円、コンビニ払いは124円の支払い手数料が別途必要です。
携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約内容によっては振替払いがご利用いただけない場合があります。



入試に関する問い合わせ先 東京農工大学 学務部入試課入試試験係 〒183-8538東京都府中市瑞見町3-6-1 電話: 042-367-5837, 5544

OPEN CAMPUS 2018



キャンパスツアー

現役の学生ガイドが、教育研究施設と武蔵野の緑に恵まれたキャンパスをご案内します。東京農工大学で学ぶ先輩たちに学生生活の質問ができるだけでなく、大学の雰囲気も味わえます。みなさんのご参加をお待ちしています！

農学部	生物生産学科	7月8日(日)	10:00～11:30 学生による学科紹介 (学生による学科の紹介、キャンパスツアーや体験実習など) 13:30～15:00 教員による模擬授業 授業内容や質問がA5ポスターをご用意(1枚掲載予定)。
	応用生物科学学科	7月27日(金)	
	環境資源科学学科	7月21日(土)	
	地域生態システム学科	7月28日(土)	
	共同獣医学科	7月24日(水)	
工学部	生命工学科	6月23日(土) 10:00～16:30	*自由見学のイベントです。授業実習日の土曜日に大学を開放しますので、普段のキャンパスライフをご案内いただけます。希望者にはガイド付きツアーをご用意しています。 *工学部や各学科の教育・研究の活動について知りたい方は、「学部説明会」にご参加ください。
	生体医用システム工学科		
	応用化学科		
	化学物理工学科		
	機械システム工学科		
	知能情報システム工学科		

学部説明会

東京農工大学への進学を希望する受験生のみなさんを対象に、今年も東京農工大学学部説明会を開催します。保護者の方々、高校の先生、塾・予備校関係者の参加も大歓迎。お問い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

農学部	生物生産学科	8月2日(水)	10:00～12:30/14:00～16:30 学科の授業や研究の内容・学生生活の紹介、入試概要の説明やミニ講義、キャンパスツアー、個別相談会など、詳しくは申込書一冊です。
	応用生物科学学科	8月8日(水)	
	環境資源科学学科	8月9日(金)	
	地域生態システム学科	8月9日(水)	
	共同獣医学科	8月7日(水)	
工学部	環境資源科学学科	8月4日(土)	10:00～15:00 自体験教室
	生命工学科	*キャンパスツアー・キャンパス体験 6月23日(土) *夏のオープンキャンパス 8月3日(金) 10:00～13:00/14:00～17:00 (生命工学科(午後のみ)、応用化学科) 8月4日(土) 10:00～13:00/14:00～17:00 (生体医用システム工学科、知能情報システム工学科) 8月5日(日) 10:00～13:00/14:00～17:00 (化学物理工学科、機械システム工学科) *秋のオープンキャンパス 一研究室大公開 11月10日(土) 時刻未定	
	生体医用システム工学科		
	応用化学科		
	化学物理工学科		
	機械システム工学科		
知能情報システム工学科			

上記の日時で開催予定ですが、変更する場合がございます。参加される前に必ず本学ウェブサイトにてご確認ください。

参加申し込み 事前のお申し込みが必要です。ウェブサイトからお申し込みください。※開催日より数週間前まで申し込みが可能です。定員になり次第、締め切る場合があります。

▷ <http://www.tuat.ac.jp>

問い合わせ 農学部広報担当 ▶ E-mail: a-koho@cc.tuat.ac.jp 小倉地区戦略企画室 ▶ E-mail: k-koho@cc.tuat.ac.jp



学園祭(府中キャンパス)

学生委員が主体となって、模擬店、野菜市、ライブステージ、受験生相談や研究室公開など、さまざまな企画が催されます。なお、農学部主催の「農学サイエンスフェスタ(ポスターによる研究紹介)」などが期間中に開催されます。

11/9 (金)

10 (土)

11 (日)



ACCESS MAP



府中キャンパス

〒183-8509
東京都府中市幸町3-5-8

交通案内

- JR中央線「国分寺駅」下車→南口2番乗場から「府中駅行バス（朝暮学芸協会）」約10分「環状町（東京農工大学の）」バスで下車
- 東京メトロ「府中駅」下車→北口バスターミナル2番乗場から「国分寺駅南口行バス（朝暮学芸協会）」約7分「環状町（東京農工大学の）」バスで下車
- JR武蔵野線「北府中駅」下車、徒歩約12分

小金井キャンパス

〒184-8588
東京都小金井市中町2-24-16

交通案内

- JR中央線「東小金井駅」下車、南口徒歩約4分
- JR中央線「武蔵小金井駅」下車、徒歩約20分

東京農工大学ウェブサイト

<http://www.tuat.ac.jp/>



東京農工大学の学部、大学院、入試情報のほか、オープンキャンパスや相談会、説明会のイベント情報など、さまざまな情報を発信。ブログを使用して空撮した両キャンパスの映像は必見です。

受験生向け特別サイト

<http://web.tuat.ac.jp/~admiss/>



受験生の気になるキャンパスライフ情報を公開しています。研究室やサークル、農工大生の1日の様子、活躍する卒業生、学生生活の情報など、受験生の皆様へ向けた情報をお届けします。

Facebook

<https://www.facebook.com/tuat.nokodai/>



学生の研究成果が評価され、学会などで表彰を受けた報告や、教員の研究がマスコミで取り上げられた情報など、見どころ満載でアップしていきます。ぜひご覧ください。

Twitter

@TUAT_all



東京農工大学の“今”をつぶやめます！ プレスリリースやイベント情報、サークルの活動、卒業生の近況など、バラエティに富んだ内容でつぶやいています。